

(仮称) スマートパーク基本計画

令和7年5月

矢吹町教育委員会

(仮称) スマートパーク基本計画(案) 目次

01. 計画の目的と理念

1-1. 計画の目的	P 4
1-2. 基本理念・基本方針	P 4

02. 現状把握と整理

2-1. 計画地の位置	P 6
2-2. 敷地概要	P 7
2-3. 計画概要・関連計画との整合	P 8
2-4. スポーツ×デジタル振興プロジェクトの説明	P 9
2-5. 要望の把握と整理	P 23

03. 建築計画概要

3-1. 計画概要	P 31
3-2. 施設計画概要	P 38

04. 施設計画図

4-1. 配置計画	P 47
4-2. 平面計画	P 48

05. イメージパース

5-1. イメージパース	P 49
--------------	------

06. 管理計画概要

6-1. 管理計画概要		P 51
-------------	-------	-------------

07. 今後の検討事項

7-1. 今後の検討事項		P 55
--------------	-------	-------------

1-1. 計画の目的

全国的に、屋内で過ごす時間や車での移動の増加など社会的環境の変化により、全年代において運動機会が減少し、体力が低下している状況にある中、本町では、福島県市町村対抗の駅伝、軟式野球、ソフトボール、ゴルフなどの各種競技およびスポーツ少年団の活躍など、スポーツに熱心に取り組んでいる方が多くいます。

また、元野球日本代表監督である中畑清氏や、北京オリンピック陸上女子 400m 走の代表で日本記録保持者である千葉麻美氏を輩出するなど、スポーツが盛んな町であることから、令和 5 年度より「スポーツ×デジタル振興プロジェクト」として、スポーツをテーマにスポーツとデジタルを掛け合わせ、官民連携により、まちのにぎわいを創出することを目的に取り組んでいます。複合施設 KOKOTTO を地域の活性化と観光、交流の拠点と位置づけ、周辺の既存の公共施設を生かしながら、町民サービスの向上と関係・交流・流入人口の増加に向けた取り組みを行っています。本基本計画の策定にあたっては、「スポーツ×デジタル振興プロジェクト」の拠点として、スポーツや運動を軸に多様な交流が生まれ、人と町を育む場となるよう施設整備の推進を目的としています。

1-2. 基本理念・基本方針

(1) 基本理念

誰もがそれぞれのカタチでスポーツや運動を楽しめる町として
多くの人が集まり賑わうまちへ

『スポーツ×デジタル振興によりスポーツや運動の専門設備が整うことで、健康増進や部活動の取り組みが活発になります。町全体でスポーツを楽しむイベント開催を通じて、スポーツを楽しむ意識が醸成され、矢吹町の地域資源を活用したスポーツアクティビティや大会の誘致により、町外や県外から多くの人が訪れます。これにより、KOKOTTO を中心に町に賑わいが生まれ、スポーツ人口や運動関係人口が増加します。多様な交流が育まれることで、矢吹町にスポーツや運動に関する人材・知識・情報が集約され、矢吹町ならではの特色ある取り組みが発展します。

この理念を実現するため、本施設はスポーツや運動を通じて複合施設 KOKOTTO や周辺の公共施設と連動し、相乗効果を生み出す拠点として整備します。施設間の回遊性を高め、中心市街地の活性化につなげるとともに、各種イベントやプログラムの開催により、世代を超えた交流の場を創出します。子どもから高齢者、障がいのある方まで、誰もがそれぞれの形でスポーツや運動を楽しめる環境を提供し、活気と賑わいに満ちたまちづくりに貢献する施設を目指します。

1-2. 基本理念・基本方針

(2) 基本方針

スポーツや運動を軸に多様な交流が生まれ、人と町を育む場
デジタル活用により、人・知識・情報が集約する活動拠点へ

本施設は、前述の基本理念に基づき、官民連携のもと、町民の健康寿命の延伸と地域コミュニティの活性化、次世代を担う子どもたちの育成基盤の構築を目的とし、デジタル技術を活用した町の健康づくり、子どもたちの基礎体力向上、スポーツ競技力向上を目指す拠点として、以下の施設コンセプトに配慮したハード整備を行います。

・アスリートから部活動、健康への取り組みや基礎体力作りなどのスポーツ・運動活動におけるデータ利活用により、人・知識・情報が集約することで、全世代、幅広い人に対し様々な交流が行われ、新しいきっかけに出会える場。

・子供の可能性を拓け、スポーツ・運動・健康への意識が高まり、継続を促される、何度でも通いたくなる施設体験。矢吹町への興味・愛着がわくような場。



計画地は、矢吹町の西部、本町の中心市街地の中央部、JR 矢吹駅近くに位置し骨格道路である旧奥州街道に面しています。国道 4 号線や東北自動車道など主要交通にも近く利便性の高い立地です。また、「公民館」「図書館」「観光交流」「子育て支援」の 4 つの機能を融合し、令和 2 年に開業した複合施設 KOKOTTO や大正ロマンの館に隣接した、世代を問わず町民にとって賑わいづくりの要とも言える場所です。周辺は、親子で楽しめる屋内外運動場「未来くるやぶき」などのスポーツ関連施設や保育所、幼稚園、認定こども園、小学校、中学校、高校など教育機関も充実したエリアであり、各機関との連携も視野に、スポーツや運動を軸に多くの人々が利用し交流する施設整備を目指しています。

The map shows the study area (計画地) located near Yabuki (矢吹). Key features include the Tohoku Main Line (東北本線) running vertically, the Tohoku Shinkansen (東北新幹線) running diagonally from the top left, and the Aomori Expressway (東北自動車道) running diagonally from the bottom left. The area is bounded by the Sagami River (相模川) to the east. Other locations marked include Sagami (相模), Yabuki (矢吹), and various local roads like the Sagami River Bridge (相模川橋) and Sagami River (相模川). A north arrow is present in the top right corner.

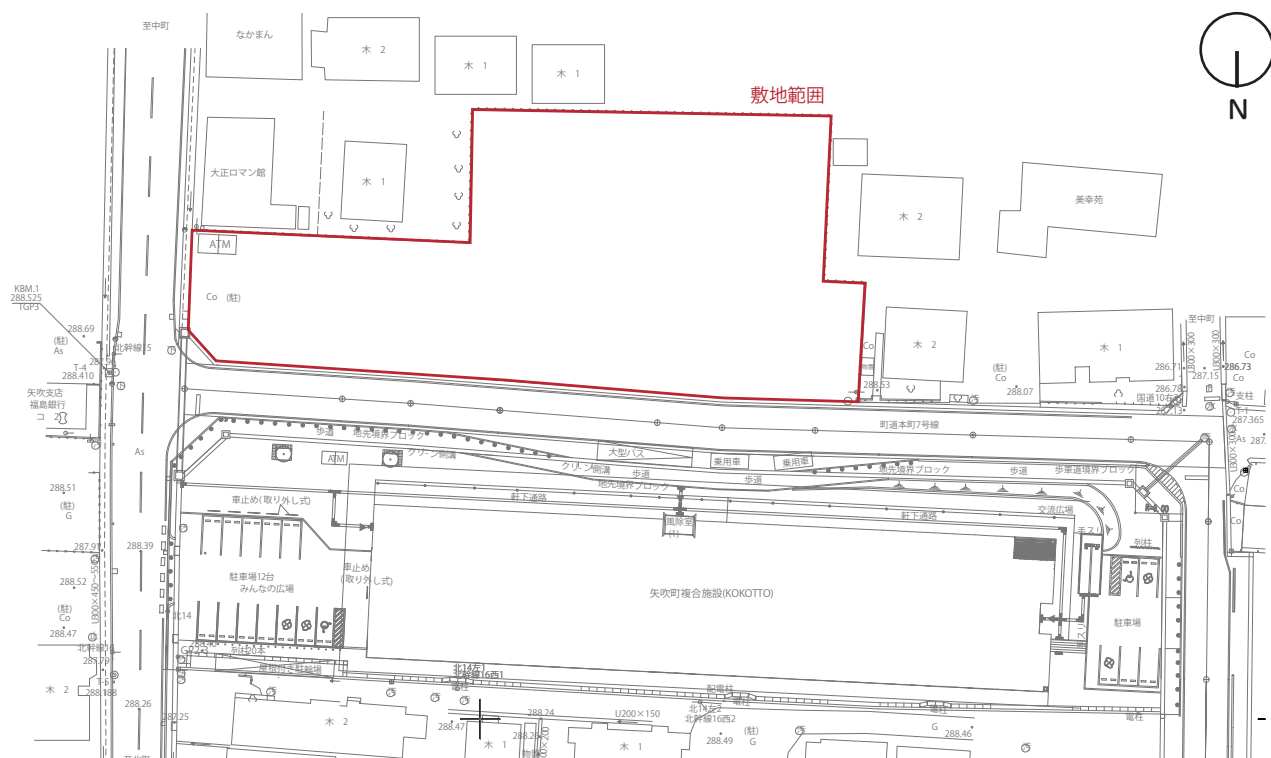
P.6

2-2. 敷地概要

計画地の敷地概要は以下の通りです。

項目	内容
所在地	矢吹町本町161番8,161番9,161番10,162番,163番1,163番2,163番3
面積	敷地面積 2,207㎡ 建築面積 約200㎡
前面道路 幅員、種別	東側：9.92m 本町7号線（1076）、北側：8.65m 北町・新町線（1262）
用途地域	商業地域 建蔽率80%、容積率400%
高度地区	指定なし。建築基準法22条地域
防火地域	

【現況図】



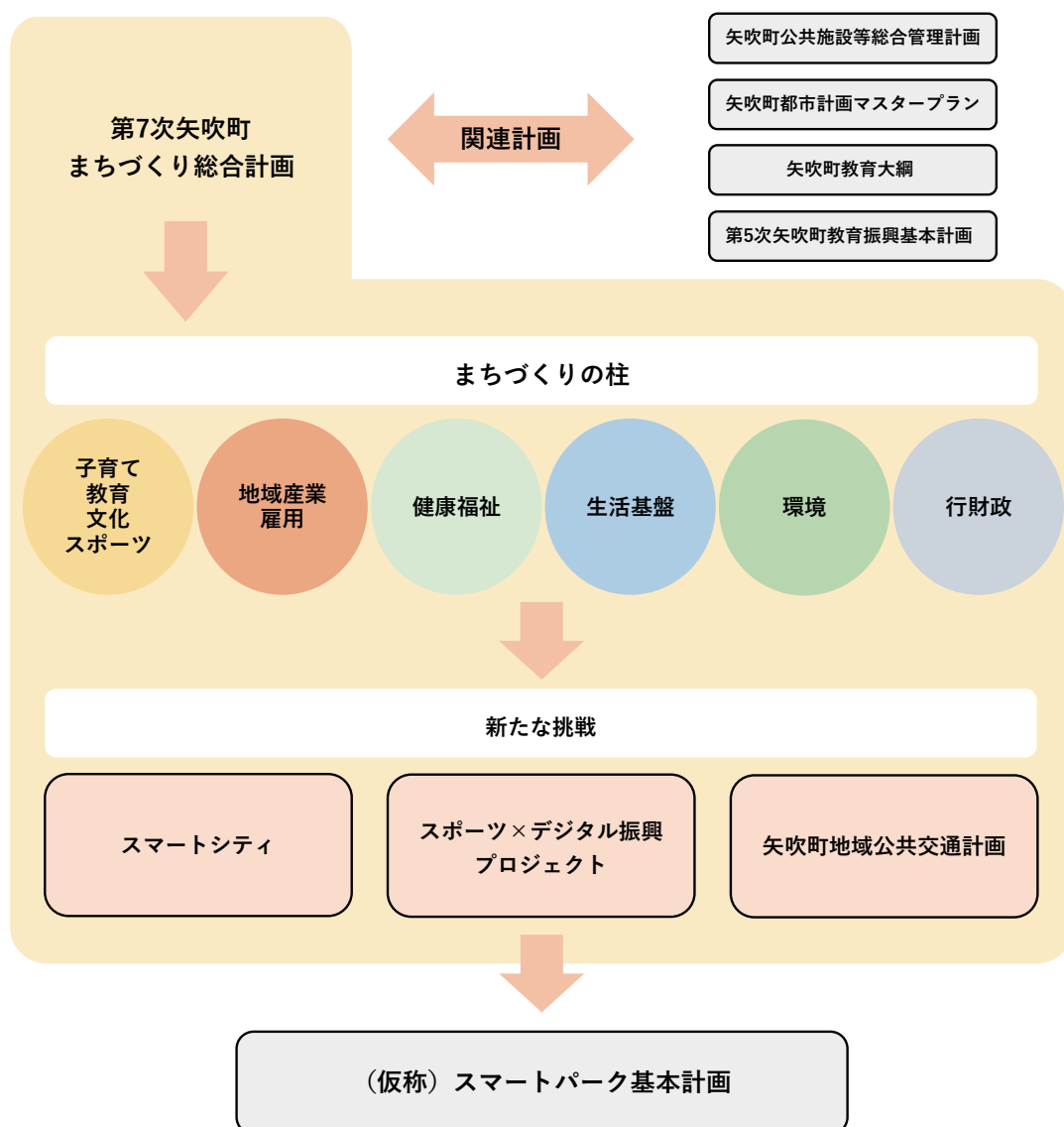
敷地は現在、主に KOKOTTO の駐車場として利用されています。施設及びマルチフィールド以外の部分については、駐車場利用を前提とした配置計画とします。

2-3. 計画概要・関連計画との整合

本計画は、『第7次矢吹町まちづくり総合計画』を最上位計画とし、関連計画である『矢吹町公共施設等総合管理計画』『矢吹町都市計画マスタープラン』『矢吹町教育大綱』『第5次矢吹町教育振興基本計画』との整合性をもとに、具体的な施設の基本計画として策定するものです。

『第7次矢吹町まちづくり総合計画』では、3つの『新たな挑戦』として重点プロジェクトに位置づけられています。

【『(仮称)スマートパーク基本計画』の位置づけ】



2-4. スポーツ×デジタル振興プロジェクトの説明

＜概要＞ 計画期間：令和5年4月1日～令和8年3月31日



スポーツ×デジタル振興プロジェクトは、現状・課題を解決し、賑わい創出等を目的として、令和5年度より開始しました。これまでウェルビーイング向上を実現させるソフト事業の開発等さまざまな活動を行いました。幼稚園児や小学生を対象に、子どもの走る力、投げる力、握力などを高める「体力・運動能力向上事業」や、小学生を対象にスポーツを通して体力・運動能力低下の課題を解決するとともに、英語学習におけるモチベーションやアウトプット能力の向上を目指す「スポーツ×英語教育事業」も展開しました。中学生や高校生には、プロアスリートやトップアスリートを指導するトレーナーによる競技力向上を目的とした「タレント発掘事業」と「ジュニアアスリート活動支援事業」を推進しています。成人以上を対象には、体の機能を改善するプログラムを通じて、生活に必要な動きを取り戻すことで心身の健康を促進し、町全体の医療費削減にも寄与する「ヘルスケア事業」を行いました。これらは幼稚園児から高齢者まで全世代に向けたスポーツ科学に基づくプログラムです。

また、これらの事業と並行して、スポーツの機運醸成や賑わいづくりを目的とした取組も実施しました。プロバスケットボールチーム「福島ファイヤーボンズ」の協力のもと「BONDS CUP in YABUKI」を開催しました。著名なアスリートを招待し、特設陸上レーンでのタイム測定や千葉麻美氏とのトークショーを行う「YABUKI ストリート陸上」も実施しました。さらに、仮称スマートパークの整備に向けた用地の確保や、当該プロジェクトの運営を担うスポーツコミッションの設立に向けた関係団体との協議等も進めてまいりました。

2-4. スポーツ×デジタル振興プロジェクトの説明

(1) 実証事業の展開

①体力・運動能力向上	子どもの走る力、投げる力、握力などを高める デジタルデバイスを着用し、運動中の心拍応答を確認、可視化。今後の指導に活かす		
実施年度	対象	回数	人数合計（延べ）
令和 5 年度	三神小学校 2 年生	2 回	24 名
令和 6 年度	三神小学校 2 年生	5 回	70 名
	矢吹小学校 2 年生	1 回	18 名
	善郷小学校 2 年 1 組、2 組、3 組	各 1 回	1 組 21 名、2 組 20 名、3 組 20 名
	中畑小学校 2 年生	1 回	18 名



スマートウォッチを着用する児童

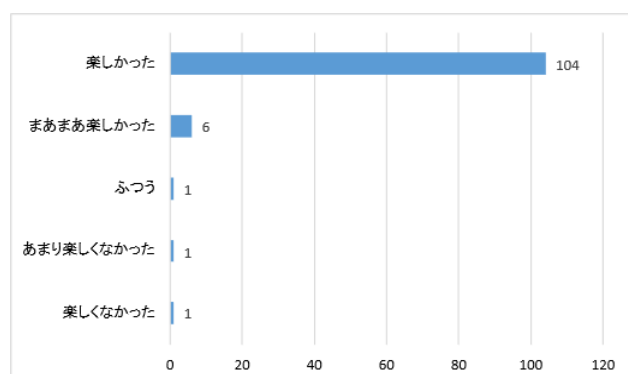


体力・運動能力向上事業の様子

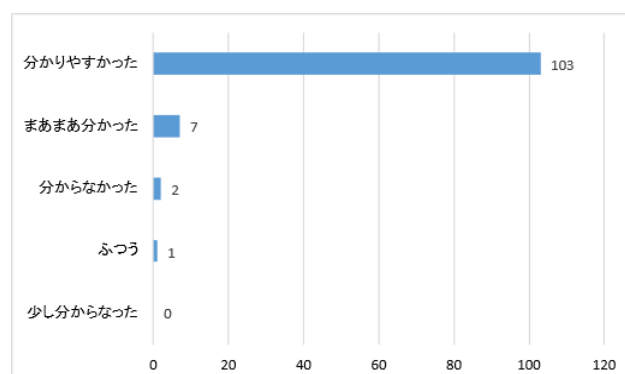
<アンケート結果>

（一部抜粋、対象：参加児童、収集方法：紙・WEB フォーム、対象年度：令和 6 年度）

問 1 授業の満足度はどうでしたか。

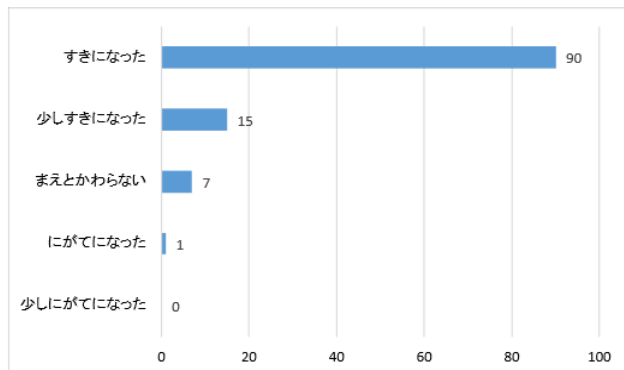


問 2 先生の授業はわかりやすかったですか。

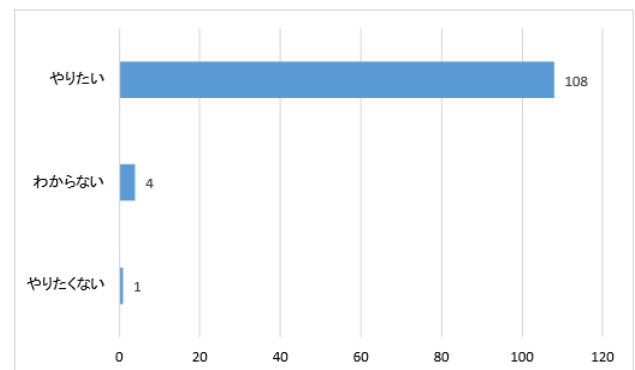


2-4. スポーツ×デジタル振興プロジェクトの説明

問3 授業を受ける前と比べて運動は好きになりましたか。



問4 また同じ運動の授業をやりたいですか。



②スポーツを活用した英語教育		スポーツを通して体力運動能力低下の課題を解決するとともに、英語学習におけるモチベーションやアウトプット能力の向上を目指す		
実施年度	対象	回数	人数合計（延べ）	
令和5年度	三神小学校 3年生	2回	34名	
令和6年度	三神小学校 3年生	10回	140名	
	矢吹小学校 3年生1組、2組	1回	1組18名、2組20名	
	善郷小学校 3年1組、2組	各1回	1組26名、2組32名	
	中畑小学校 3年生	1回	29名	



運動の様子



英語で好きな食べ物を書いてみよう



英語で発表の様子

2-4. スポーツ×デジタル振興プロジェクトの説明

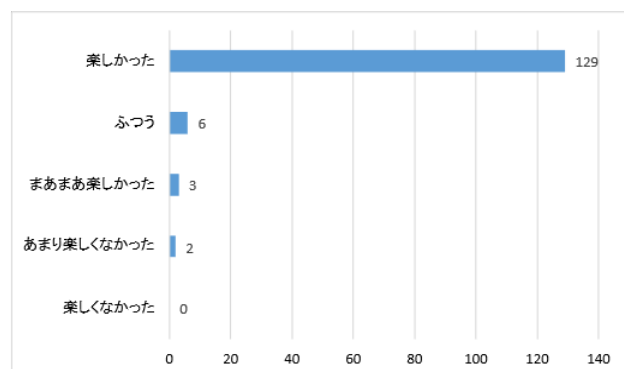
＜講師総括＞（一部抜粋、対象：三神小学校3年生、対象年度：令和6年度）

- ・初回レッスンでは英語の指示に対してオウム返しが多く見られたが、最終セッションでは適切な応答ができるようになった。具体的には、挨拶や準備確認の質問に対して適切な返答ができるようになり、ボールの受け渡しに関する表現も正しく使用できるようになった。
- ・セッションを重ねるごとに、運動能力と英語力の両面で向上が見られた。特に、講師に対して積極的にコミュニケーションを取る様子が見られるようになった。
- ・体の部位を使用する活動では、講師の指示がなくても自主的に英語で表現しながら動作ができるようになった。

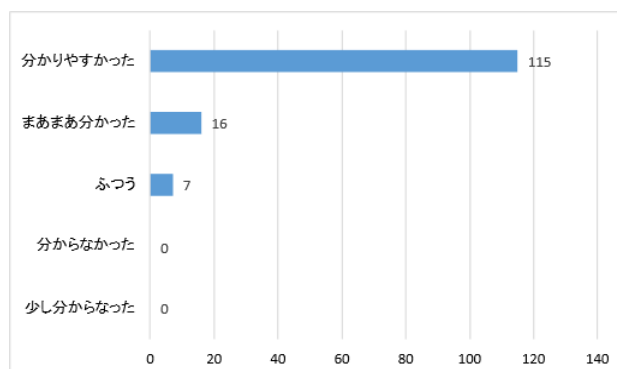
＜アンケート結果＞

（一部抜粋、対象：参加児童、収集方法：紙・WEB フォーム、対象年度：令和6年度）

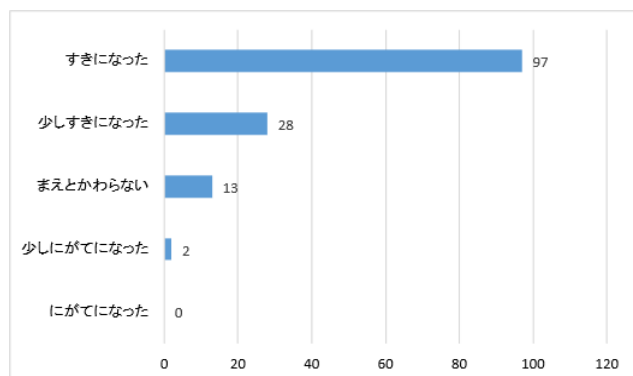
問1 授業の満足度はどうでしたか。



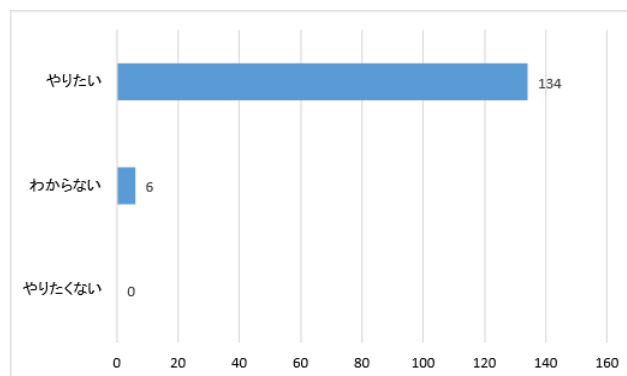
問2 先生の授業はわかりやすかったですか。



問3 授業を受ける前と比べて、英語は好きになりましたか。



問4 また英語と運動の授業をやりたいですか。



2-4. スポーツ×デジタル振興プロジェクトの説明

③タレント発掘事業 ④ジュニアアスリート 活動支援	プロアスリートやトップアスリートを指導するトレーナーの指導により競技力の向上を目指す		
実施年度	対象	回数	人数合計（延べ）
令和5年度	矢吹中学校 陸上部、ソフトテニス部	3回	121名
	矢吹中学校 男女バレーボール部	2回	100名
令和6年度	矢吹中学校 剣道部	3回	42名
	矢吹中学校 バドミントン部	3回	69名
	光南高校 男子バレーボール部	1回	21名
	光南高校 女子バレーボール部	1回	12名
	光南高校 女子ハンドボール部	1回	9名



【矢吹中学校】トレーニングの様子①



【矢吹中学校】トレーニングの様子②



【矢吹中学校】体力測定の様子



【矢吹中学校】体成分分析装置「InBody」を使用し筋肉量や体脂肪など自己分析



【光南高校】ウェイトトレーニングの様子



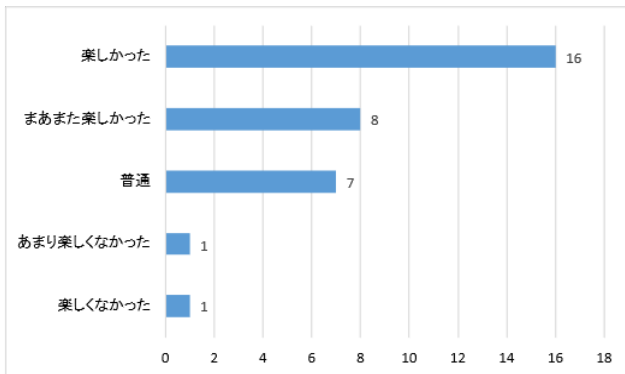
【光南高校】トレーニングの様子

2-4. スポーツ×デジタル振興プロジェクトの説明

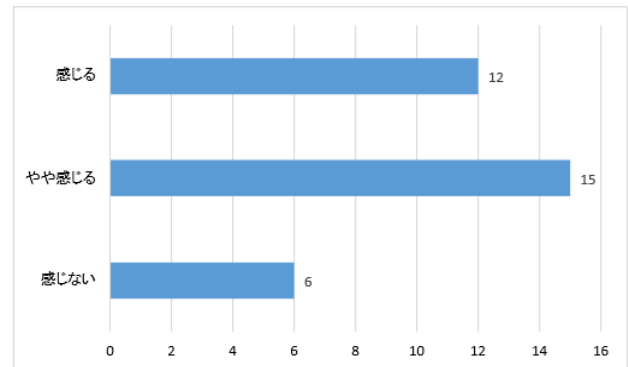
＜アンケート結果＞

（一部抜粋、対象：矢吹中学校部活動、収集方法：紙・WEB フォーム、対象年度：令和 5 年度）

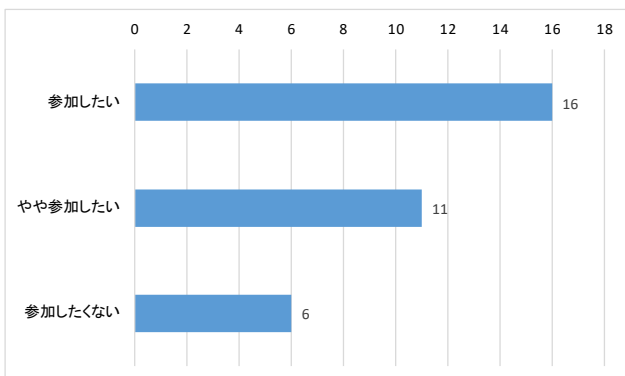
問 1 トレーニングの内容はいかがでしたか。



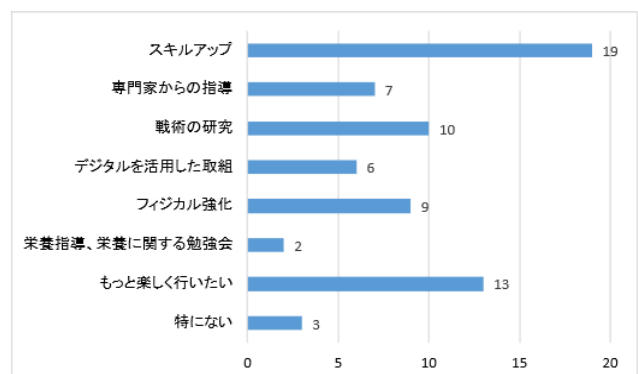
問 2 受ける前と比べて、自身のパフォーマンスアップを感じますか。



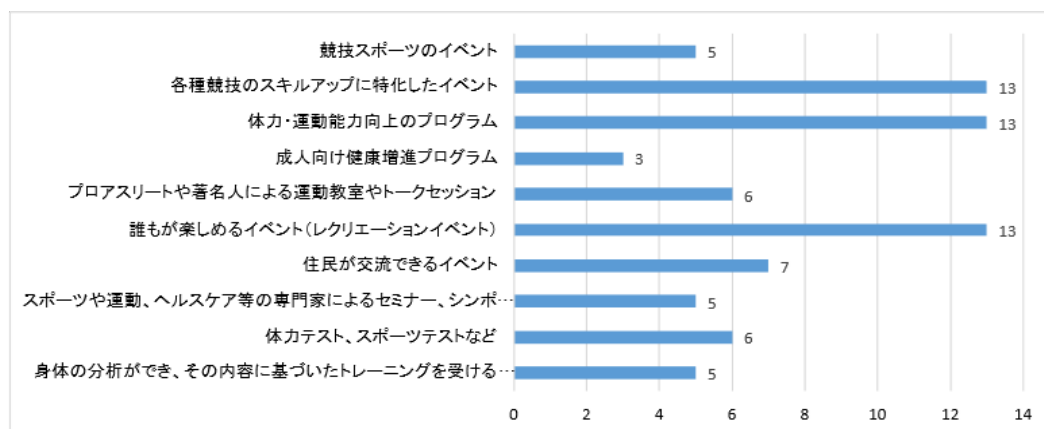
問 3 今回のような取組みが継続された場合、継続的に参加したいと思いますか。



問 4 スポーツや運動を行う中で、やってみたい取組はありますか。（複数回答可）



問 5 今後、矢吹町どのようなスポーツイベント、機会があれば参加したいですか。（複数回答可）



2-4. スポーツ×デジタル振興プロジェクトの説明

⑤ヘルスケア	成人以上を対象に体の機能を改善するプログラムを実施し、生活に必要な動きを取り戻すことで、心も体も健康にし、町全体の医療費削減にも寄与する。		
実施年度	対象	回数	人数合計（延べ）
令和5年度	矢吹スポーツクラブ会員	2回	51名
令和6年度	矢吹スポーツクラブ会員	5回	100名



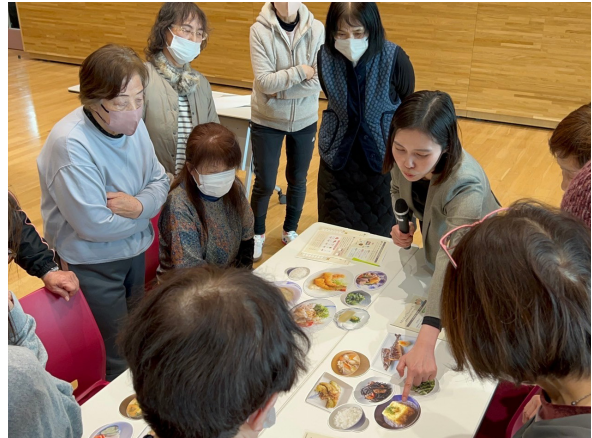
手首に心拍数モニターを付けスクリーンで
自己の心拍数を確認しながらの運動



ストレッチの様子



管理栄養士による栄養講習会①

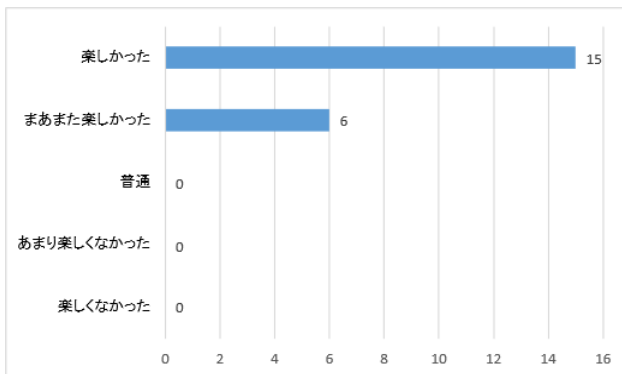


管理栄養士による栄養講習会②

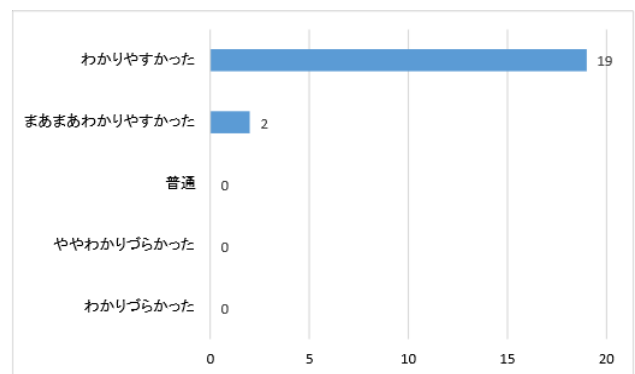
2-4. スポーツ×デジタル振興プロジェクトの説明

＜アンケート結果＞（一部抜粋、対象：参加者、収集方法：紙、対象年度：令和5年度）

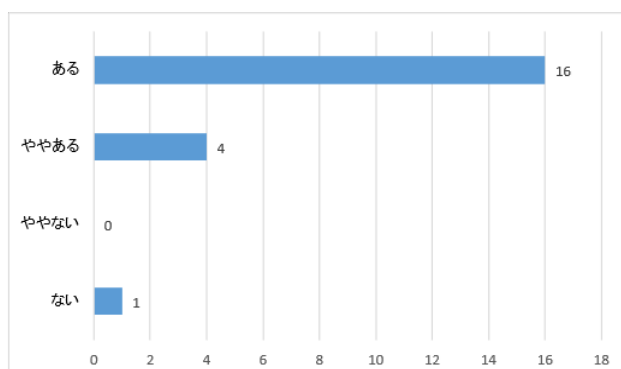
問1 教室の内容はいかがでしたか。



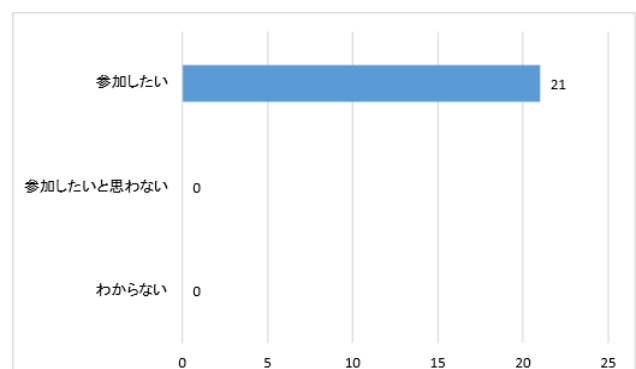
問2 講師の指導はいかがでしたか。



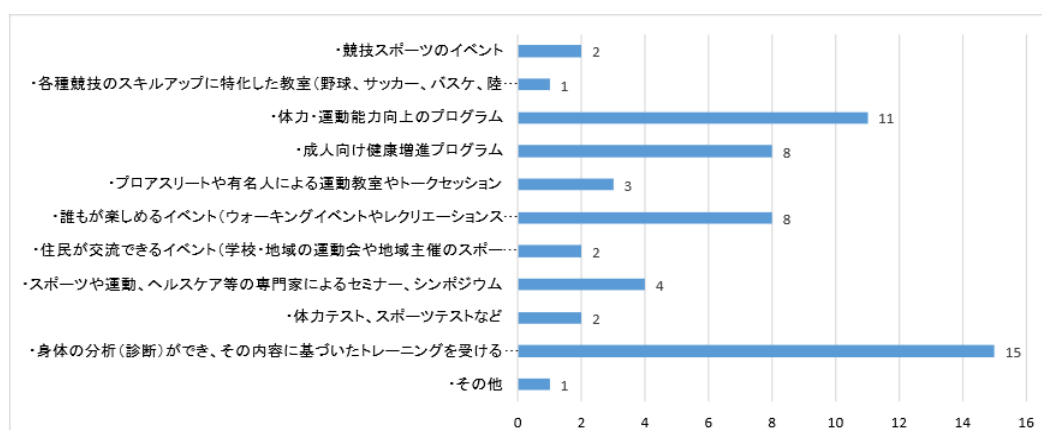
問3 教室を受ける前と比べて、運動に対する意識に変化はありましたか。



問4 今回のような取組みが継続された場合、継続的に参加したいと思いますか。



問5 今後、矢吹町どのようなスポーツイベント、機会があれば参加したいですか。（複数回答可）



2-4. スポーツ×デジタル振興プロジェクトの説明

⑥幼稚園向け体力・運動能力向上	幼児期に運動遊びを通じて子どもの走る力、投げる力、握力などを高める		
実施年度	対象	回数	人数合計（延べ）
令和 6 年度	矢吹中央幼稚園 年長クラス	1 回	35 名



幼児期の運動遊び①



幼児期の運動遊び②

2-4. スポーツ×デジタル振興プロジェクトの説明

(2) 機運醸成イベントの実施

地域の賑わいづくりやスポーツへの関心を高めるため機運醸成イベントを実施しました。

①BONDS CUP 3x3 BASKETBALL in Yabuki	
開催日	実施内容
令和 5 年 11月12日 (日)	①3×3 バスケットボール大会 15 チーム (小・中学生の部 8 チーム、高校・一般の部 7 チーム) ②マスコット「ボンズ」くん、チアリーダー「Ray-Glitters」 ③光南高校チアリーダー部パフォーマンス ④バスケ体験コーナー：フリースローチャレンジ ⑤キッチンカー出店 *同日、KOKOTTO にて NPO 主催の子ども向けイベント、矢吹駅にてハッピーサンデーが開催
令和 6 年 11月4日 (月)	①福島ファイヤーボンズ選手が教える！バスケットボールクリニック ②3×3 バスケットボール大会 16 チーム (小学生の部 8 チーム、・中学生以上の部 8 チーム) ③マスコット「ボンズ」くん、チアリーダー「Ray-Glitters」 ④矢吹スポーツクラブチアダンス「アローズ」チームパフォーマンス ⑤バスケ体験コーナー：フリースローチャレンジ ⑥キッチンカー出店



BONDS CUP2024 ポスター



3x3 大会

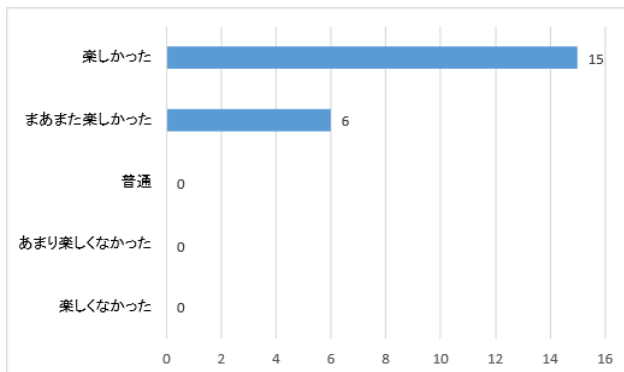
2-4. スポーツ×デジタル振興プロジェクトの説明

<アンケート結果>

(一部抜粋、対象：参加者、収集方法：WEB フォーム、対象年度：令和 5、6 年度)

問 1 イベントの内容はいかがでしたか。

問 2 問 1 の理由を教えてください。



回答

<令和 5 年度>

- ・子供が楽しそうにプレイしていたので。
- ・ストリートコートでやるのが初めてだったので楽しかった。リーグ戦などで試合数をたくさんやれると嬉しいです。
- ・子供達が楽しく出来ていたみたいなので。
- ・自分としては初めてでた 3×3 でそれに向けて練習などをしたり、本番でもいい結果は出せなかったがとても楽しかったから。
- ・小学生と中学生の対戦はどうなのか。子供達のモチベーションも下がった。(令和 6 年度では改善)

<令和 6 年度>

- ・子供が楽しそうにバスケを学んでいたから。
- ・プロ選手と楽しくバスケができました。
- ・クリニックや大会開催はもちろん、会場内に設置されたブースやキッチンカーなど大人も子供も楽しめ盛り上がっていた。
- ・楽しかった。矢吹でバスケ関係者と触れ合える、関係を築けるのが素晴らしい。
- ・男の子と女の子の差がある中で圧倒的すぎるのは少し見てて辛そうな感じに見えました。

<ハイライト動画>

BONDS CUP2023



<https://www.youtube.com/watch?v=6FC-FJACp1k>

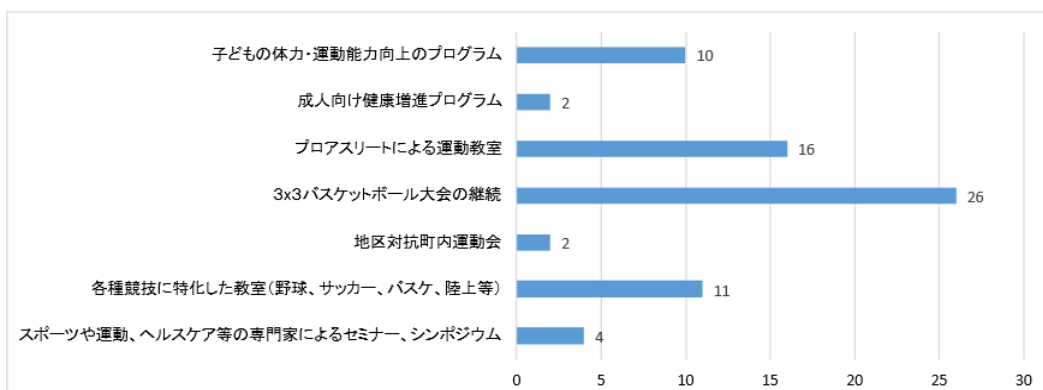
BONDS CUP2024



<https://www.youtube.com/watch?v=jaLunJoC-C0>

問 3 今後、矢吹町どのようなスポーツイベント、機会があれば参加したいですか。

(複数回答可)



2-4. スポーツ×デジタル振興プロジェクトの説明

②YABUKI ストリート陸上	
開催日	実施内容
令和 5 年 12月2日（土）	ゲスト ・福島千里さん(北京・ロンドン・リオデジャネイロ五輪日本代表。女子100m、200m の日本記録保持者) ・千葉麻美さん(北京五輪日本代表。女子400m、4×400m リレーの日本記録保持者) ①レジェンドアスリートによるトークセッション ②子どもかけっこ教室 ③レジェンドアスリートによるデモンストレーション ④30m ダッシュチャレンジ ⑤キッチンカー出店 ⑥InBody 診断（体組成測定）ブース
令和 6 年 11 月 10 日 （日）	ゲスト ・飯塚翔太選手(リオ五輪 4×100m リレー銀メダリスト) ・荒井恵理子さん(管理栄養士・スポーツ栄養士。本町出身) ・千葉麻美さん(北京五輪日本代表。女子400m、4×400m リレーの日本記録保持者) ①レジェンドアスリートによるトークセッション ②極真会館 門馬道場 矢吹道場 空手演武 ③子どもかけっこ教室 ④スポーツ栄養講習会 ⑤レジェンドアスリートによるデモンストレーション ⑥30m ダッシュチャレンジ ⑦矢吹だいすき子ども祭り ⑧キッチンカー出店 ⑨InBody 診断（体組成測定）ブース *NPO 法人ふれっしゅ・すてーじとの共同開催



YABUKI ストリート陸上 2024 ポスター



オリンピックアスリートによるデモンストレーション

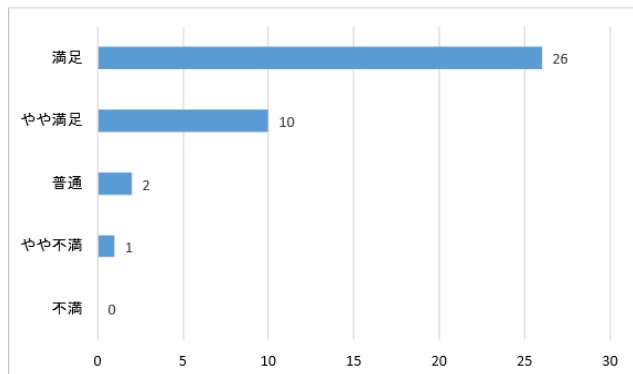
2-4. スポーツ×デジタル振興プロジェクトの説明

<アンケート結果>

(一部抜粋、対象：参加者、収集方法：WEB フォーム、対象年度：令和 5、6 年度)

問 1 イベントの内容はいかがでしたか。

問 2 問 1 の理由を教えてください。



<ハイライト動画>

YABUKI ストリート陸上 2023 YABUKI ストリート陸上 2024



<https://www.youtube.com/watch?v=nvxaYzpfoml>



<https://www.youtube.com/watch?v=Gw3vt-Q2QUM>

回答

<令和 5 年度>

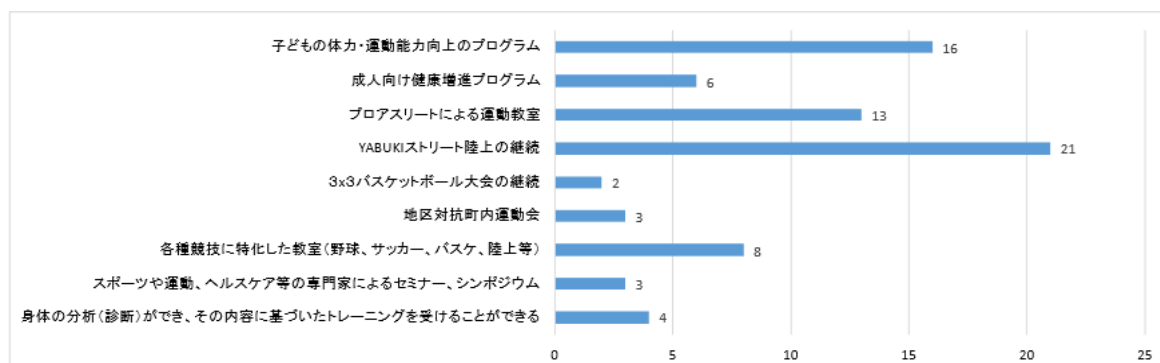
- ・お祭りのような雰囲気ですスポーツを親しめるともよいイベントだと思いました。
- ・なかなか経験できない事を経験でき良かったです。
- ・お天気も良く、いい経験ができたので
- ・幅広い世代が楽しめた。
- ・子どもに良い緊張感を与えられた。
- ・日本記録保持者の走りがみれた!
- ・出店もあって雰囲気がよかった。
- ・道路止めて走るのが気持ちいい。
- ・体組成計またやりたい。

<令和 6 年度>

- ・オリンピックがとても優しくて 感動したのと、30メートル競争が楽しかったです。小学生最後のストリート陸上とても良い思い出が出来ました。
- ・栄養学のお話すごく勉強になりました
- ・一つの施設で様々なイベントが催され、色々な世代の方が来場されていて活気を感じたから。
- ・オリンピックの貴重なお話やスポーツ栄養学について聞くことができ、とても勉強になりました。 スピードスター選手権も楽しかったです
- ・会場の広さ、イベントの規模も丁度良く参加しやすかった。 もう少し屋外に、気軽に座れるスペース等あると小さい子どももイベントをみたり飲食もしやすかったように感じる。
- ・子どもが生き生きと活動していた。オリンピックに直接会えて指導してもらえるのはなかなかない機会。とてもいい時間だった。

問 3 今後、矢吹町どのようなスポーツイベント、機会があれば参加したいですか。

(複数回答可)



2-4. スポーツ×デジタル振興プロジェクトの説明

(2) 2023 年度「スポまち！長官表彰 2023」を受賞

2023 年度には、本プロジェクトの取り組みが評価され、スポーツ庁より「スポまち！長官表彰 2023」を受賞しました。

「スポまち！長官表彰 2023」とは、2021 年度にスポーツ庁で創設されたスポーツを活用した「地方創生」「まちづくり」に積極的に取り組もうとする自治体のアイデアを、室伏広治スポーツ庁長官より表彰し、全国に広く知ってもらうための「スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰」であり、本町を含む全国で 26 の自治体が表彰されました。



室伏広治スポーツ庁長官から表彰状を授与される蛭田泰昭町長

令和 5 年 11 月 10 日（金）大手町三井ホール

2-5. 要望の把握と整理

(1) スポーツ・運動に関するニーズの把握

ハード整備の検討を行うにあたり、スポーツ・運動に関するニーズの把握をするため、アンケート調査、関係者・関係団体へのヒアリングを実施しました。

(2) アンケート調査

1・調査対象

ことぶき大学 参加者

2・調査概要

■調査数：135 名

■調査日：2023 年 8 月 22 日

■調査目的：スポーツや運動に関する定性的な観点を抽出するため、過去の肯定的な体験や、スポーツ・運動に関する活動を通じたまちづくりに関するフリーコメントによるアンケートを実施しました。その他、スポーツ・運動活動を後押しするために必要な要素やきっかけとして求められている点などについて調査を実施。今後のハード・ソフト事業の施策検討に活用します。

3・調査結果の概要（一部抜粋）

①プロジェクトに対する期待（要望・リクエスト）（記述式）

「みんなで楽しめる、気軽に楽しめるアクティビティ」

- ・音に合わせて体を動かす運動など ・リトミックのような軽い運動
- ・簡単なヒップホップ的なもの ・子どもと一緒に夏休み等のラジオ体操があれば良い
- ・太極拳もそれなりにやってみたいと思います ・ヨガ

「専門家による指導、きっかけづくり」

- ・ジム専門家が指導してくれる
- ・町のプールの活用、初めての人のためにシニア向けのアクアビクス教室を4回くらいやっていただけたらその後は、自分でできそうです。きっかけを作っていただけたらと思います。

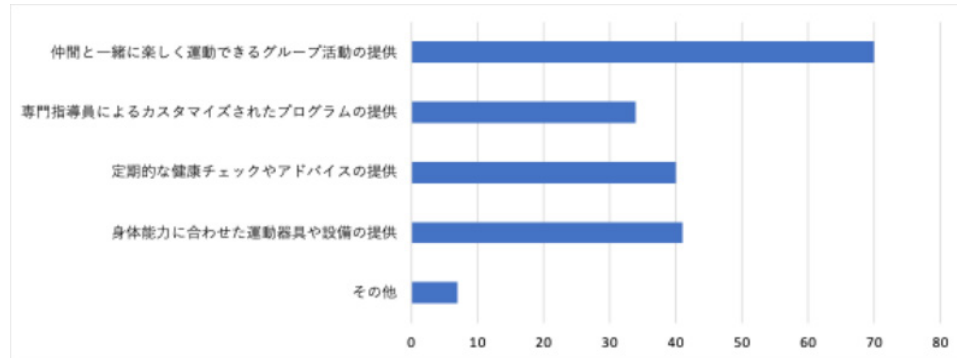
「設備に対する期待」

- ・集会所でやっていますが、暑くエアコンが欲しい
- ・各体育館にシャワー設備、サウナ付きジムが欲しい

2-5. 要望の把握と整理

②どのような支援があればスポーツや運動に参加しやすくなると思いますか？（選択式）

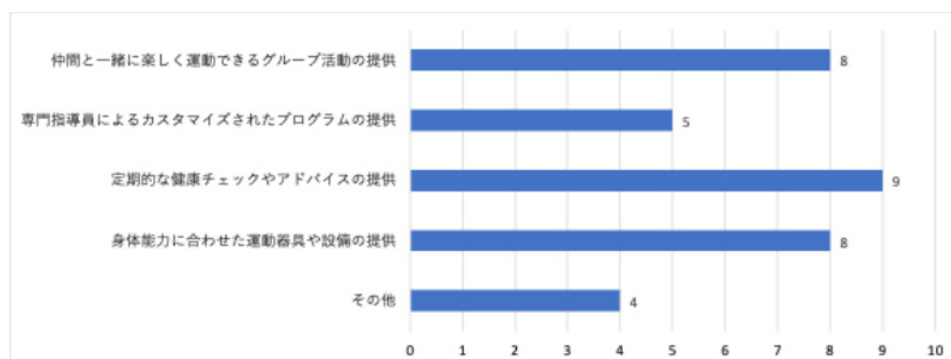
②-1 事前の質問で「スポーツ・運動好き」だと回答した人のみ



その他

- ・ラジオ体操を毎朝集会所でやりたい
- ・年齢に合わせた運動
- ・専門指導員の教室を増やして欲しい
- ・パークゴルフは歩いていけないので車を出して欲しいです。町のタクシーで行けるようにして欲しい
- ・町内に階段を使ったウォーキングができるところがほとんどないので、文化センターのホール内をぐるぐる自由に歩けたら冬でも体力作りになるかな（暖房なしで）
- ・自分流で運動して体感を感じるのが好き
- ・80才をすぎ体がついて行かず、やりたいと思わない

②-2 事前の質問で「スポーツ・運動好きではない」だと回答した人のみ



その他

- ・運動器具に合わせてやってみたい
- ・足が悪いのですべて送迎が必要となります
- ・お金がかからない

2-5. 要望の把握と整理

1・調査対象

福島県立光南高校 在校生

2・調査概要

■調査数：188 名

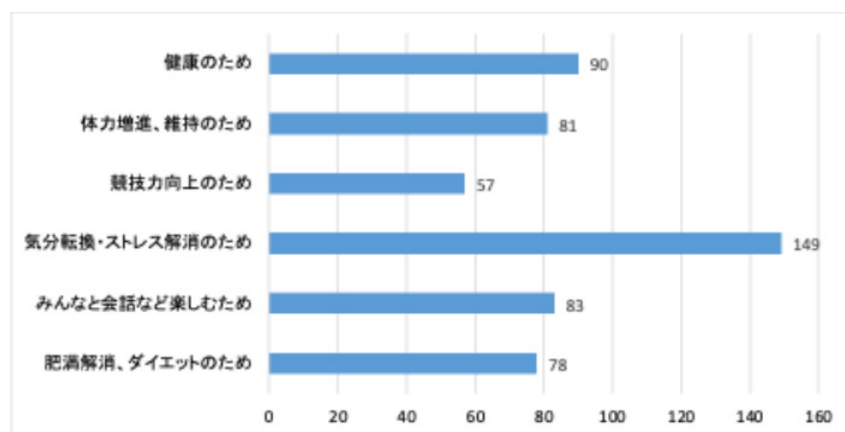
■調査日：2023 年 9 月 20 日～9 月 27 日

■調査目的：スポーツや運動に関する定性的な観点を抽出するため、過去の肯定的な体験や、スポーツ・運動に関する活動を通じたまちづくりに関するフリーコメントによるアンケートを実施。その他、スポーツ・運動活動を後押しするために必要な要素やきっかけとして求められている点などについて調査を実施。今後のハード・ソフト事業の施策検討に活用していく。

3・調査結果の概要（一部抜粋）

①スポーツを楽しむ目的を教えてください。（選択式）

気分転換・ストレス解消のため、友人と楽しみながらという声が多数

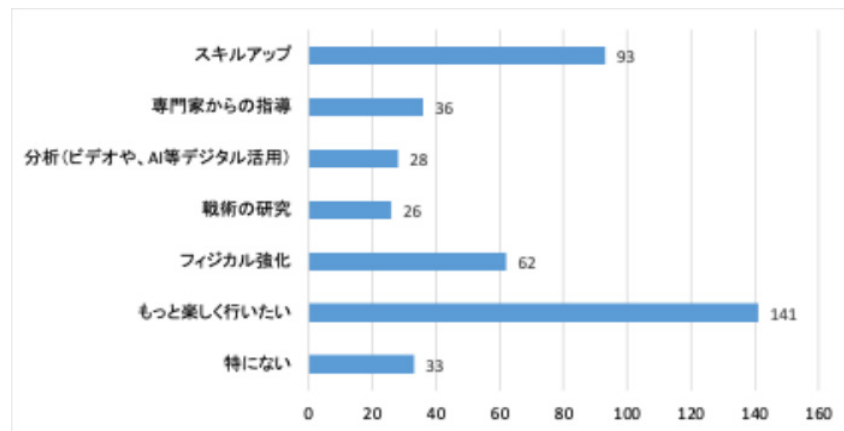


< その他 >

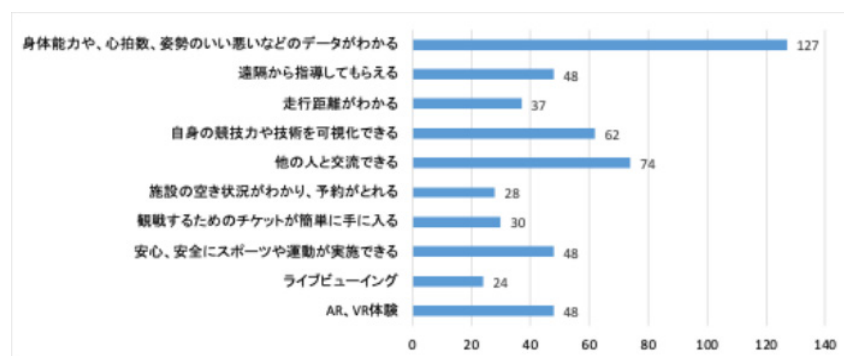
- ・みんなと週一でバレーしているのがとても楽しい。
- ・毎週続けている。たくさんの人と会話出来て仲良くなれるので大切な時間
- ・学校のスポーツ大会が楽しかった
- ・仲間と一緒に戦ってたくさん体を動かした
- ・仲間と協力したこと！
- ・仲間と一緒にスポーツをして楽しかった
- ・みんなと体育の時間バレーするのが楽しかった
- ・仲間と練習して東北大会に出場した
- ・団体競技で仲間と一緒に戦って勝利した

2-5. 要望の把握と整理

②スポーツや運動を行う中で、やってみたい取組はありますか（複数回答可）



③スポーツの分野において、デジタルを活用してどのようなことが出来るようになるといいですか。（複数回答可）



④矢吹町にできて欲しい施設を教えてください。（記述式）

体育館・室内運動施設、スポーツジム、バスケットコートの声が多かった。

- ・体育館、室内運動施設 ・運動公園、競技施設
- ・スポーツジム ・バスケットコート ・商業施設
- ・卓球場 ・eスポーツクラブ
- ・アーバンスポーツ拠点 ・ゴルフ
- ・サッカー場 ・ソフトテニスの施設、クラブなど
- ・ダンススクール ・バドミントン
- ・高校生や大人でもスポーツが気軽にできる施設がほしい。

2-5. 要望の把握と整理

⑤スポーツや運動で矢吹町を元気にする取り組みアイデアはありますか。（記述式）

『スポーツ・運動関連施設』

- ・楽しい施設 ・ベンチを増やす ・3x3
- ・学生が行きやすく広々と運動出来る場所が少ないと思うので駅周辺にしたり学校の近くに施設を設置してみたりすればいいと思う
- ・高校生が肉体強化に、ジムを利用するのですが、須賀川か白河の方までいかなければなりません。気軽に寄れるジムが欲しいです。

『みんなで交流、楽しめるイベント・大会』

- ・地域での交流 ・小学校同士で対抗運動会をする
- ・幼稚園、保育園で交流会をする ・運動会みたいなものを開く
- ・マラソン大会 ・eスポーツを老若男女問わず楽しめる場所作り
- ・体が動かしにくい人でも簡単にみんなで楽しくする

『アスリートとの交流』

- ・プロのスポーツ選手と交流する。
- ・有名な選手や講師を迎えた体験会

(3) ヒアリング調査

1・調査対象（順不同、敬称略）

矢吹町生涯学習課

矢吹スポーツクラブ

矢吹町スポーツ協会

矢吹町スポーツ推進委員

矢吹町立矢吹中学校 部活動顧問

矢吹町スポーツ振興審議会

矢吹町スポーツ少年団（サッカー）

2・調査概要

■調査日：2023年6月8日～6月12日

■調査目的：スポーツまちづくりにおける定性的な観点を抽出するため、活動内容、現在の課題や今後実現したいこと、プロジェクトに期待すること、矢吹町の地域資源（強み・弱み）についてのヒアリング調査を行った。

2-5. 要望の把握と整理

3・調査結果のまとめ

①課題とニーズ

■競技人口の減少と参加者の多様化

【全般】

- ・競技人口の減少
- ・会員数の減少
- ・集客が課題。声掛けはすごくしている。若いお母さんの友達が多く、口コミで広がっている。信頼感、コミュニケーションが大事
- ・ゲームはパソコンなど魅力のあるものが多いので、運動を好きになってもらえるような取り組みをしないと行けない

【子ども】

- ・運動が苦手な子は、挑戦しない。避ける傾向がある。自分が手本を見せながら、ステップをふんでやったものの、気持ちの面の指導は難しい
- ・震災特有の運動環境。運動ができる子、できない子の差、運動差が激しい。(スキップできない、リズムとれない)
- ・親御さんの意識も変わってきた。(時間を取られたくない等)
- ・子どもは芸能人並みに忙しい
- ・子どものソフトボールでいうと、父兄の考え方も変わってきている。過去は遊びとしてソフトくらいしかなかったが、今は選択肢がある、送迎がある。土日が無くなるなど

【成人】

- ・時間に制限がある。「働き世代」が運動する機会を作りたい。その世代にアプローチしたい
- ・子育て中のお母さんは運動ができない。託児所が近いとか、一緒とか、セットできると若い世代も運動する機会ができるといい。未来くるやぶき、遊んでいる隣でお母さんも運動できる環境

■指導者・審判員の育成と質の向上

- ・陸上競技だけでも、専門性がある指導者が少ない
- ・広い目、指導者の目が必要。プールの指導は特に安全面が重要。大人の目が必要。水泳は特にサポートが必要
- ・審判も高齢化が進んでいる。若い成り手が少ない

2-5. 要望の把握と整理

■施設・環境の整備と活用

【施設】

- ・トレーニング施設（校庭や体育館以外）が町内にない。学校によって設備、グッズも様々だからこそ、それらが一括して、ここに行けばこういうトレーニングができるよという環境づくり
- ・大池公園が有効活用できるといい。経済効果がある
- ・ポケットパークも、もっと上手く使えないのかと思う
- ・大人も運動を楽しめるような場所があるといい

【環境】

- ・スポーツクラブとしての拠点がない
- ・親子で体験できることを増やしたい
- ・親子の触れ合う、そういう事業が今は出来ない。理由は、送迎や土日の対応含め、保護者の余裕がなくなってきたため。子どもも習い事が多くなってきており、時間が取れなくなってきた。スポーツ少年団も少なくなってきた
- ・千葉さんの指導を受けられる機会は、小学校の陸上クラブ以外ない（矢吹スポーツクラブでもない）

■情報発信・PRの強化

【情報発信】

- ・情報発信が弱い、良いものがあってもアピールできていない
- ・PR、情報発信の不足。他のマネではなく、矢吹町独自の発信。もっと知ってもらいたい。
- ・魅力や情報発信が大事。力を入れたほうがいい
- ・スポーツが盛ん。だけど、町民の盛り上がりが少ない。アピールポイント、周知できる方法があるといい

【地域連携】

- ・各地区対抗の運動会、球技会、がどんどんなくなってきた。部落でBBQなどそういうものもやりたい

2-5. 要望の把握と整理

■その他

【デジタル技術の活用】

- ・心拍数を測ることで、あなたは1分間にどれだけ歩けるか。安全に運動できるようにデジタルが使えるといいのではないか
- ・スマホを持っていると、歩数計、カロリー、距離が出ると面白い。動けるモチベーションになる

【プロスポーツとの連携】

- ・プロスポーツとの関わりをもたせることで、技術の向上だけではなく、家族内のコミュニケーションも増えると思う

【食育の推進】

- ・食に関して指導はしているものの、踏み込んだ指導が難しい

②プロジェクトへの期待

- ・運動する人が多くなっていく。子どもころから運動を習慣化、正しい動きを覚える、使える。
- ・新しい施設ができて、それが良い施設であれば、町外、県外から人が来てくれると思う。それによって矢吹町をまた知ってくれる
- ・高齢者は、運動量のあるものを好む傾向。目的は健康のために、コミュニティをもっと広げたい、繋がりを持ちたい。そういうところを広げたい
- ・千葉さんの走り方トレーニングや勉強などは是非やってもらいたい。小学生からやっていくのがいいと思う
- ・小学生のうちからできたら良い。中学生からの体作りでは遅い。小学生からやっていくべき。特に柔軟性や股関節周りの可動域など
- ・新チーム始動の際に、取り組んでもらうのがいいのではないか

③矢吹町の強み

- ・大池公園などの地域資源がある。住みよい、利便性が高い
- ・道路、空港、電車と利便性が高い
- ・自然が豊か、食べ物が美味しい

3-1. 計画概要

(1) 施設利用イメージ

本施設の利用イメージとして、以下の特徴を持つ施設を目指しています。なお、これらの計画は現在検討段階であり、今後の協議を経て具体化していくものです。

①個々の状況に合った運動指導（パーソナルトレーニング、グループトレーニング）

生涯スポーツ活動の各プログラムの開催に加え、在籍するトレーナーによる個々の状況に合った運動指導（パーソナルトレーニング、グループトレーニング）を提供することを検討しています。これは周辺の類似施設にはない強みとなります。

②個別最適化されたプログラムの提供

デジタル技術の活用により、人・知識・情報が集約する活動拠点となり、一人ひとりに最適な健康増進プログラムやコミュニティ形成の支援を行うことを検討しています。個別最適化されたプログラムの提供により、利用者の継続的な参加意欲を高め、健康増進効果の向上につなげることを目指します。

③データ収集とその分析に基づく改善アプローチの提供

デジタル機器によるデータ収集とその分析に基づく改善アプローチの提供を目指します。この客観的なデータ分析により、科学的根拠に基づいた効果的な健康増進・体力向上プログラムの提供が可能となります。なお、個人データの取り扱いについては、個人情報保護法に基づき適切に管理し、利用目的を明確に説明した上で利用者の同意を得るなど、プライバシーへの十分な配慮を行います。また、収集したデータは匿名化した上で分析に用い、第三者への提供は行わないことを原則としています。

④世代を超えた交流の場

対象は子どもから高齢者まで幅広く設定し、誰もがそれぞれの形でスポーツを楽しめる環境づくりを目指します。これにより、世代を超えた交流の場としても機能することが期待されます。

3-1. 計画概要

⑤地域の健康ハブ

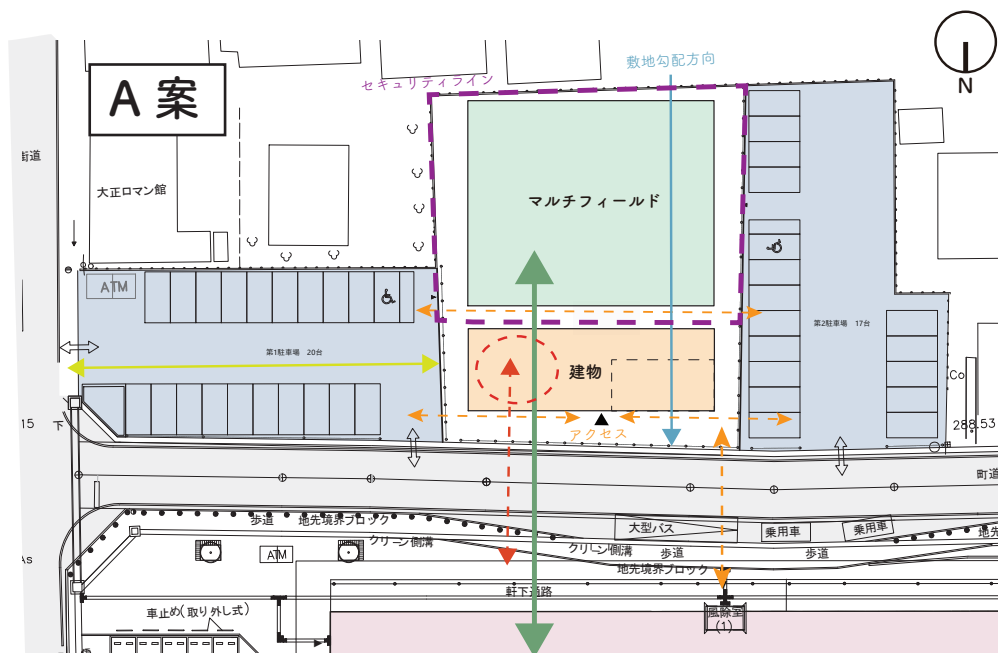
クラブハウス自体はフィットネスジムとしての機能を備えるが、周辺の類似施設とは明確に異なる価値提案を行います。単なるジム施設ではなく「地域の健康ハブ」としての機能を持ち、地域住民の健康増進の中核拠点となることを目指します。



3-1. 計画概要

(2) 施設全体配置（案）

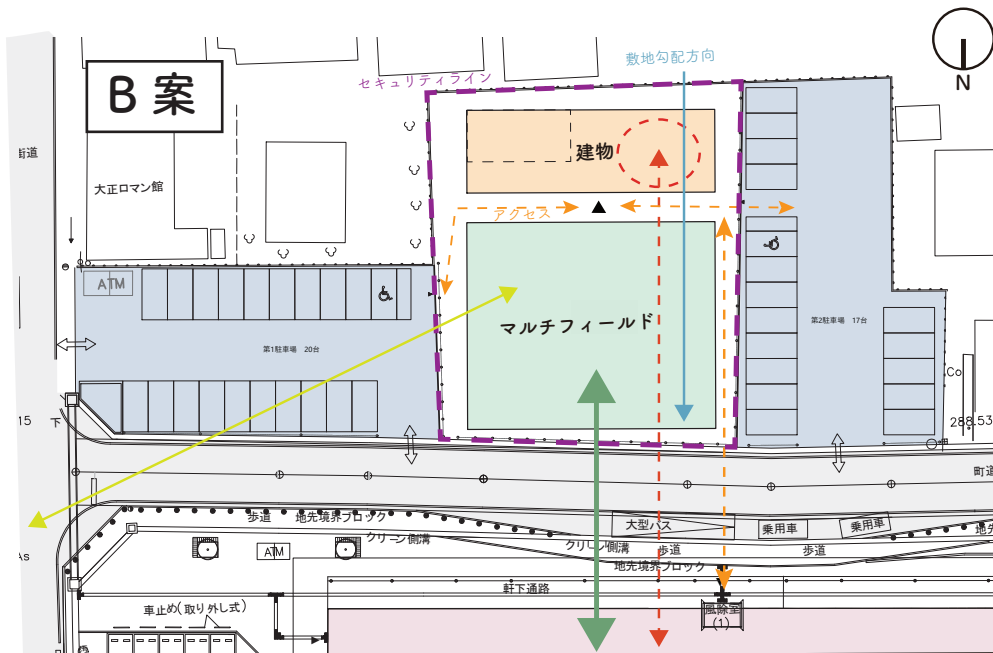
全体配置計画は、外部活動が周辺施設から視認、発信できること、KOKOTTO との配置関係性及びイベント活用等の建築面、管理面及び設備面などを総合的に判断するため、A 案～D 案までの4つの案で検討しています。



●配置評価

分野	内容	評価	コメント
建築	内部活動の視認性	◎	道路に近い為、内部活動が視認しやすい
	外部活動の視認性	△	建物に遮られて外部活動が視認できない
	建物へのアクセス	◎	駐車場、KOKOTOから入口までが近い
	建物の象徴性	◎	主要道路から建物全体が見渡せる
	KOKOTTOとの配置関係性	○	建物は一体的な配置となる
	イベント活用への発展性	△	マルチフィールドが道路に面していないので活用しにくい
管理	セキュリティ面	○	入口をある程度限定しやすい
	マルチフィールドの安全面	◎	道路に面していないので安全性は高い
設備	雨水排水ルートの合理性	△	道路に向けて流れるので建物が阻害している
	給排水ルートの合理性	◎	本管接続までの距離が短い
その他	後施工（外構部分）のしやすさ	△	道路に面していないので車両などが入りにくい
	防災広場としての利用	×	道路に面していないので活用できない

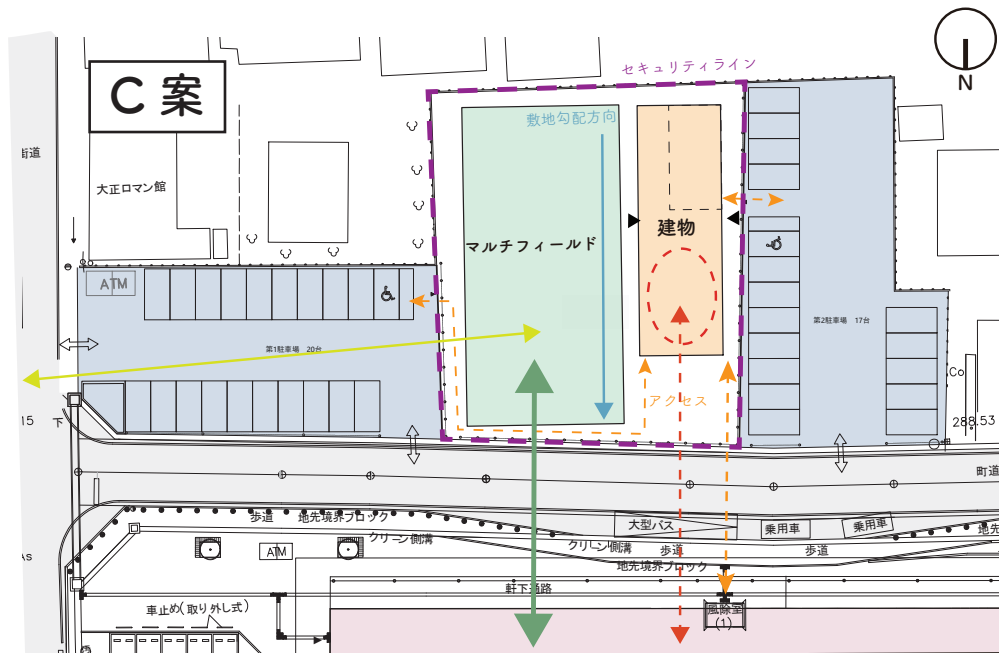
3-1. 計画概要



●配置評価

分野	内容	評価	コメント
建築	内部活動の視認性	△	道路に遠い為、内部活動が視認しにくい
	外部活動の視認性	◎	マルチフィールド中心となるので外部活動が視認しやすい
	建物へのアクセス	○	駐車場から近いがKOKOTTOから距離がある
	建物の象徴性	○	道路から見えにくい建物の顔をつくりやすい
	KOKOTTOとの配置関係性	◎	マルチフィールドを中心として中庭のような配置関係となる
	イベント活用への発展性	◎	お祭りルートの一部としても発展可能
管理	セキュリティ面	△	マルチフィールドへのアクセスを制御するのが大変
	マルチフィールドの安全面	△	マルチフィールドが道路に直接面している。
設備	雨水排水ルートの合理性	◎	敷地の傾斜を考慮した建物配置
	給排水ルートの合理性	△	本管接続までの距離が長い
その他	後施工（外構部分）のしやすさ	◎	道路に面しているので車両などが入りやすい
	防災広場としての利用	◎	道路に面しているので活用しやすい

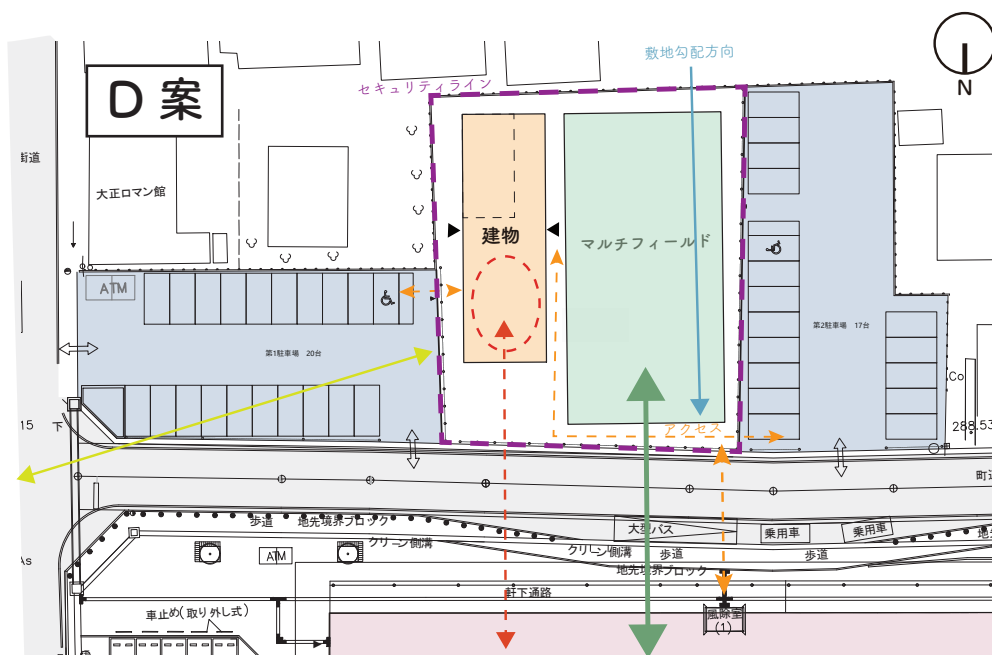
3-1. 計画概要



●配置評価

分野	内容	評価	コメント
建築	内部活動の視認性	○	部分的に道路に近い為、内部活動が視認しやすい
	外部活動の視認性	◎	マルチフィールド中心となるので外部活動が視認しやすい
	建物へのアクセス	△	駐車場からの距離が遠くなってしまう
	建物の象徴性	○	道路から建物全体を見渡すことが可能
	KOKOTTOとの配置関係性	△	建物間は近いが無関係な配置
	イベント活用への発展性	○	道路に接続している為、利用は可能
管理	セキュリティ面	△	全体的に出入口を制御するのが大変
	マルチフィールドの安全面	△	マルチフィールドが道路に直接面している。
設備	雨水排水ルート of 合理性	○	距離は長い為、敷地の傾斜を考慮した配置
	給排水ルート of 合理性	○	設備配置によって本管接続までの距離が長くなる
その他	後施工（外構部分）のしやすさ	○	部分的に道路に面しているので問題ない
	防災広場としての利用	○	部分敷に道路に面しているので活用可能

3-1. 計画概要



●配置評価

分野	内容	評価	コメント
建築	内部活動の視認性	○	部分的に道路に近い為、内部活動が視認しやすい
	外部活動の視認性	○	主要道路からは外部活動が視認しにくい
	建物へのアクセス	△	駐車場からの距離が遠くなってしまう
	建物の象徴性	△	道路から一部しか見えない
	KOKOTTOとの配置関係性	△	建物間は近いが無関係な配置
	イベント活用への発展性	○	道路に接続している為、利用は可能
管理	セキュリティ面	△	全体的に出入口を制御するのが大変
	マルチフィールドの安全面	△	マルチフィールドが道路に直接面している。
設備	雨水排水ルートの合理性	○	距離は長いが、敷地の傾斜を考慮した配置
	給排水ルートの合理性	○	設備配置によって本管接続までの距離が長くなる
その他	後施工（外構部分）のしやすさ	○	部分的に道路に面しているので問題ない
	防災広場としての利用	○	部分的に道路に面しているので活用可能

3-1. 計画概要

(3) 外構について

外構の舗装は、『公共建築工事標準仕様書（建築工事編）』における『車路、歩行者用通路』相当の強度を想定した仕様とします。設備面としても、外部電源や水栓を適宜確保することで、芝のメンテナンスや掃除、イベントや災害時の利用に配慮した計画としています。

(4) 駐車場の設置について

駐車場は東側駐車場に 20 台、西側駐車場に 17 台の計 37 台を計画しています。各駐車場には、おもいやり駐車場を最低 1 台設置することを検討します。

(5) 敷地境界等のフェンス等の設置について

周辺環境を考慮し、近隣建物との境界部ごとにフェンス等を計画しています。マルチフィールド、道路に面する境界部については、上下式車止め等を中心に計画します。マルチフィールドと道路との境界部については、視認性やイベント時の車両の出入りを想定し、チェーン等で容易に開放可能な計画とします。

3-2. 施設計画概要

本施設は、以下の規模、諸室等による構成で計画しています。なお、今後の協議経過により変更となる場合があります。

(1) 建物概要

項目	仕様・規模	備考
用途	建築物の類型(告示別添二による建築物の類型)第1類第三号スポーツジム	設計時の協議、再確認は必要とする。
構造	構造は問わない。	
階数	地上1階	
高さ	約5.5m	測定点は切妻屋根の頂点。
延べ面積	約200㎡	延べ面積200㎡以下として計画する。

(2) 必要諸室と面積

	諸室名称	想定 規模 (㎡)	用途	備考
内部	受付兼事務室	10	・施設管理者の事務作業スペース ・施設利用者用の受付	・トレーニングスペースやマルチフィールドを見渡せる配置
	更衣室兼バックヤード	5	・スタッフ用の更衣室 ・スタッフ用休憩スペース ・倉庫	・事務室と一体的な配置 ・男女更衣室
	エントランス	5	・エントランス	
	ロビー	20	・休憩、待ち合わせスペース利用 ・施設紹介や展示スペース利用	・マルチフィールドへの眺望を確保
	トレーニングスペース	95	・室内運動	・床マット利用 ・最低3m程度の天井高さを確保
	倉庫	7.5	・内外運動用機材の倉庫	
	WC(男)	8.5	・男性用便所	・大便器×1、小便器×2、手洗器×2
	WC(女)	8.5	・女性用便所	・大便器×2、手洗器×2
	更衣室兼シャワー室(男)	12.5	・男性用更衣室	・手洗器×2、鍵付きロッカー×約22個 ・ブース×2 ・更衣室と一体的な配置
	更衣室兼シャワー室(女)	12.5	・女性用更衣室	・手洗器×2、鍵付きロッカー×約22個 ・ブース×2 ・更衣室と一体的な配置
	メンテナンス兼相談スペース	6	・体重測定や体のメンテナンスなどの 個人相談可能なスペース	
外部	廊下	3	廊下	
	マルチフィールド	約380㎡	・公園のような利用	・最大限芝のスペースをとる必要はない
	陸上用タータン	—	・陸上練習用の	・2レーン、約24mほどを確保
	運動用段差	—	・上り下りの運動が可能なスペース	・階段状

3-2. 施設計画概要

ア 受付兼事務室

利用貸出の受付や維持管理を行うためのスタッフが常駐する「事務室」を、施設利用者がアクセスしやすい位置に設置します。また、利用者の待ち時間軽減や、スタッフが指導に集中するために、受付の自動化も検討します。

イ 更衣室兼バックヤード

スタッフが更衣や休憩等が行える「更衣室兼バックヤード」を設置します。

ウ エントランス

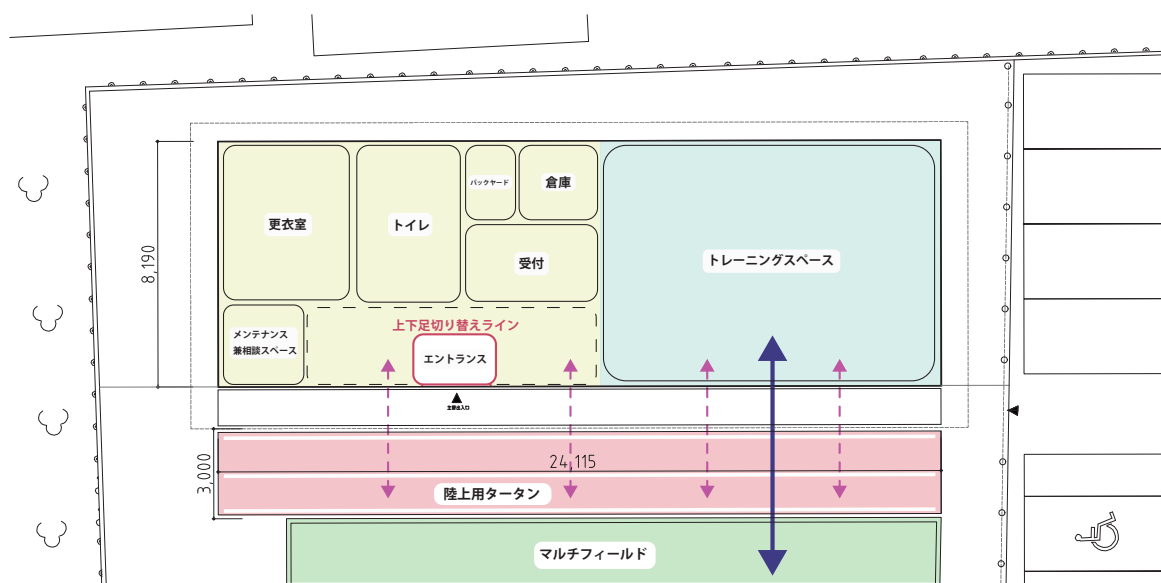
本施設内は、上足利用とするためエントランスで上下足の切替が可能な計画としています。

エ ロビー

休憩、待ち合わせスペース、施設紹介および展示スペース等の利用を想定しています。また、マルチフィールドへの眺望を確保します。

オ トレーニングスペース

数人での器具等を使用したパーソナルトレーニング、セミナー、研修等の多目的な活動が可能な「トレーニングスペース」を設置します。活動中の運動量を可視化するため、心拍数をディスプレイに表示させるなど、デジタル機器を活用します。室内は、最低天井高さを3m程度とし、運動をするスペースとして十分な高さを確保します。床は、運動用マットの設置を想定した床下地および仕上げ構成とします。また、トレーニングスペースからマルチフィールドへの一体的な利用および十分な換気性能を考慮し、外部へ開放可能なサッシを計画します。この際、日射の遮蔽や多様な利用シーンを考慮し、開口部にはブラインド等を設置します。



※配置計画 B 案の場合

3-2. 施設計画概要

カ 倉庫

本施設内外での多様な活動に必要なとなる用具や、スポーツイベントやセミナー等で使用する器具などを収納するための「倉庫」を設置します。

キ 更衣室・シャワー室・トイレ

通常利用時だけでなく、イベント時などにも利用者が快適に過ごせるよう、「更衣室」や「シャワー室」を設置します。また、マルチフィールドで活動する人が気軽に利用できるよう、「トイレ」は更衣室・シャワー室とは独立して設置します。

ク メンテナンス兼相談スペース

体重、体脂肪、筋肉量等の測定およびカウンセリング、体のメンテナンスのための運動目標設定や運動メニューの提供、相談等の応対が可能なスペースとして「メンテナンス兼相談スペース」を設置します。

ケ マルチフィールド

軽度な運動、一般的な公園利用およびイベント時の利用等を想定した場所として「マルチフィールド」を設置します。フィールドの素材は、安全性、メンテナンス性を考慮し選定します。また、軽度の運動や一般的な公園利用を想定した場所とするため、ナイター用照明器具などは必要としない計画です。

コ 陸上用タータン

足首や膝へのダメージを軽減しながら陸上トレーニングが行えるよう、2レーン程度（横幅約3m）の「陸上用タータン」を設置します。

サ 運動用段差（ベンチ）

敷地内の適切な場所に休憩、イベント時の観戦および上下階段運動を目的とした「運動用段差（ベンチ）」を設置します。

3-2. 施設計画概要

(3) 近隣への配慮

周辺住宅等に配慮して、運動時の騒音および建物の防音に配慮した計画とします。また、トレーニングスペースの床については、運動利用を考慮した耐圧・防振レベルの設定を行います。

(4) ユニバーサルデザインへの配慮

本施設は、『すべての人が、同じ場所で、同じことを、同じようにできる』を基本方針とした『ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針』に定める以下の5つの基本方針に基づいてユニバーサルデザインを検討します。



基本方針1 すべての人が **快適** に利用できる施設

基本方針2 すべての人が **簡単** に利用できる施設

基本方針3 すべての人が **安全** に利用できる施設

基本方針4 さりげなく **美しい** 施設

基本方針5 どのような状況にも **柔軟** に対応できる施設

※ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針より抜粋

子どもから高齢者、障がいのある方まで誰もが不自由のない施設利用を目指す為、特に以下のことに留意して検討します。

- ・移動がスムーズであり、分かりやすい動線計画に配慮した諸室配置とします。
- ・車いすやベビーカー等の利用に配慮して、通路や仕上げ切り替え面などに段差が発生しない計画とします。
- ・通路幅は車いす利用も想定して、十分な通路幅を確保します。
- ・視認性が高く分かりやすいサイン計画とします。
- ・おもいやり駐車場を各駐車場に最低1台設置を検討します。

(5) 省エネ化への配慮

①節水設備機器

節水可能な設備機械（洗浄水量の少ない節水型便器、小便器の自動洗浄装置、手洗器の自動水洗化など）の設置を検討します。

3-2. 施設計画概要

②自然換気・自然採光

室内環境の向上や省エネ化に配慮し、積極的に自然換気や自然採光の利用を検討します。自然換気は、機械的な動力を使わない換気方式で、風力や温度差など自然の力を用いて室内の空気を交換することで、高い省エネルギー効果が期待できます。自然採光は、建物の開口部から昼間の自然光（昼光）を取り入れ、室内を明るくし、室内照明の利用を減らすことでエネルギー消費量を削減していきます。

③照明管理

建物・部屋の照明を効率よく管理するために照明をネットワーク化することを検討します。各種センサーを利用することで省エネ制御やスケジュール制御など、必要な場所に必要な灯りを提供できます。さらに集中管理・遠隔操作などにより、照明設備のマネジメント管理ができるようになります。

④人感センサー

人感センサーによる照明設備の設置を積極的に検討します。人感センサーによる照明の制御を行い、人の不在時の照明を抑えることで消費電力を減らすことが可能となります。

⑤照度センサー

照度センサーによる照明設備の設置を積極的に検討します。センサーにより、日中の明かりを感知し、照度を調光制御することで人感センサー同様に省エネルギーとなります。

⑥LED照明

LED照明の設置を積極的に検討します。LED照明は、白熱電球や蛍光灯などに比べて、寿命が長く、消費電力が少ないなど効率的な省エネ対策として一般に普及しています。

⑦ペアガラス

ペアガラスの利用により断熱効果を高めることで冷暖房両方の負荷を軽減し、省エネルギー性に優れた開口部を検討します。また、部分的にLow-Eガラスの使用を検討することで、放射率を低く抑え、太陽から直接受ける日差しを和らげます。これにより断熱性をより一層高めるとともに、夏場の遮熱性をも高めることができます。

3-2. 施設計画概要

【項目及び工事区分】

工事項目		※範囲	1期工事 (令和7年度)	2期工事 (令和8年度)
建築工事	一般項目	A	●	
外構工事	舗装	B		●
駐車場工事	設備関係	C,D		●

(7) 計画工程表

本計画は以下の工程を想定しています。

【工程表】

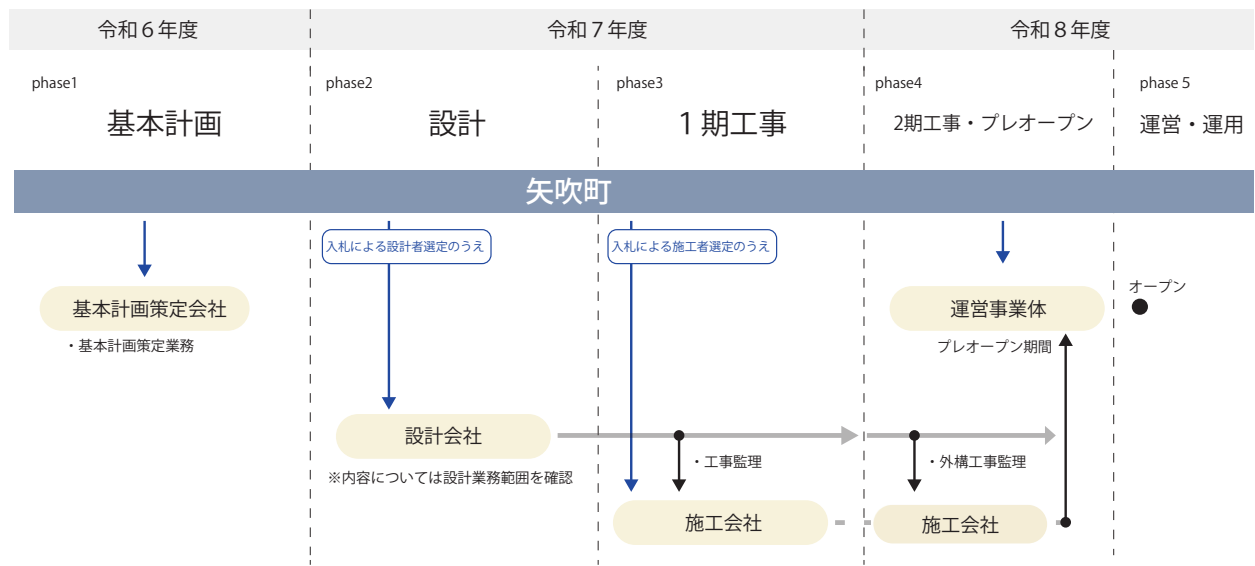
令和6年度			令和7年度												令和8年度
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	-
基本計画															
			建築・外構設計 (約5.5か月)												
			建築工事 (約5.5か月)												外構工事
															オープン
															プレオープン ●

本計画は、2期工事となるため、本工事後に建築完了部分のみのプレオープンを行い、2期工事（外構）完了後に広場等を含めた全体の正式なオープンを計画しています。なお、現段階での工程表であり、実際の工程と異なる可能性があります。

3-2. 施設計画概要

(8) 事業体制について

【プロジェクト関連図】



本計画の体制については、段階的な工事や運営開始が想定されるため、施設コンセプトや設計意図を引継ぎながら運用へ繋げることが重要です。また、基本計画の段階から、設計・運用に関する専門性を有した視点で計画を行うことで、持続的かつ効率的な施設計画を目指します。

(9) 概算事業費

本施設の概算事業費は以下の通りです。

【概算事業費】

項目	概算費用	財源内訳	摘要
用地買収費	40,630,000円	起債(75%)、一般財源(25%)	実績額
測量・設計・監理費	20,000,000円	国交付金(50%)、起債(国交付金残の90%)、一般財源(5%)	用地・土質調査含む
施設整備費	73,000,000円	国交付金(50%)、起債(国交付金残の90%)、県交付金(県産材利用に係る分100%)、一般財源(4%)	
外構整備費	62,000,000円	起債(75%)、一般財源(25%)	設計費含む、駐車場、マルチフィールド等
計	195,630,000円		

- ※ 1. 概算事業費は、設計作業前の概算額であり、今後変更になる可能性がある。
- ※ 2. 国交付金＝デジタル田園都市国家構想交付金
- ※ 3. 県交付金＝福島県森林環境交付金（県産材の利活用推進）

3-2. 施設計画概要

(8) 関係法令・条例の整理

①建築基準法の規定による建築確認申請

建築基準法第6条の規定に基づき、建築確認申請を行います。

②特定都市河川浸水被害対策法に基づく雨水浸透阻害行為の許可申請

建設予定地の開発面積は1,000m²以上及び「一級河川阿武隈川水系釈迦堂川等」において雨水浸透阻害行為を行う場合に該当するため、福島県への許可及び行為前の流出雨水量より増加しないよう雨水貯留浸透施設の設置を行います。

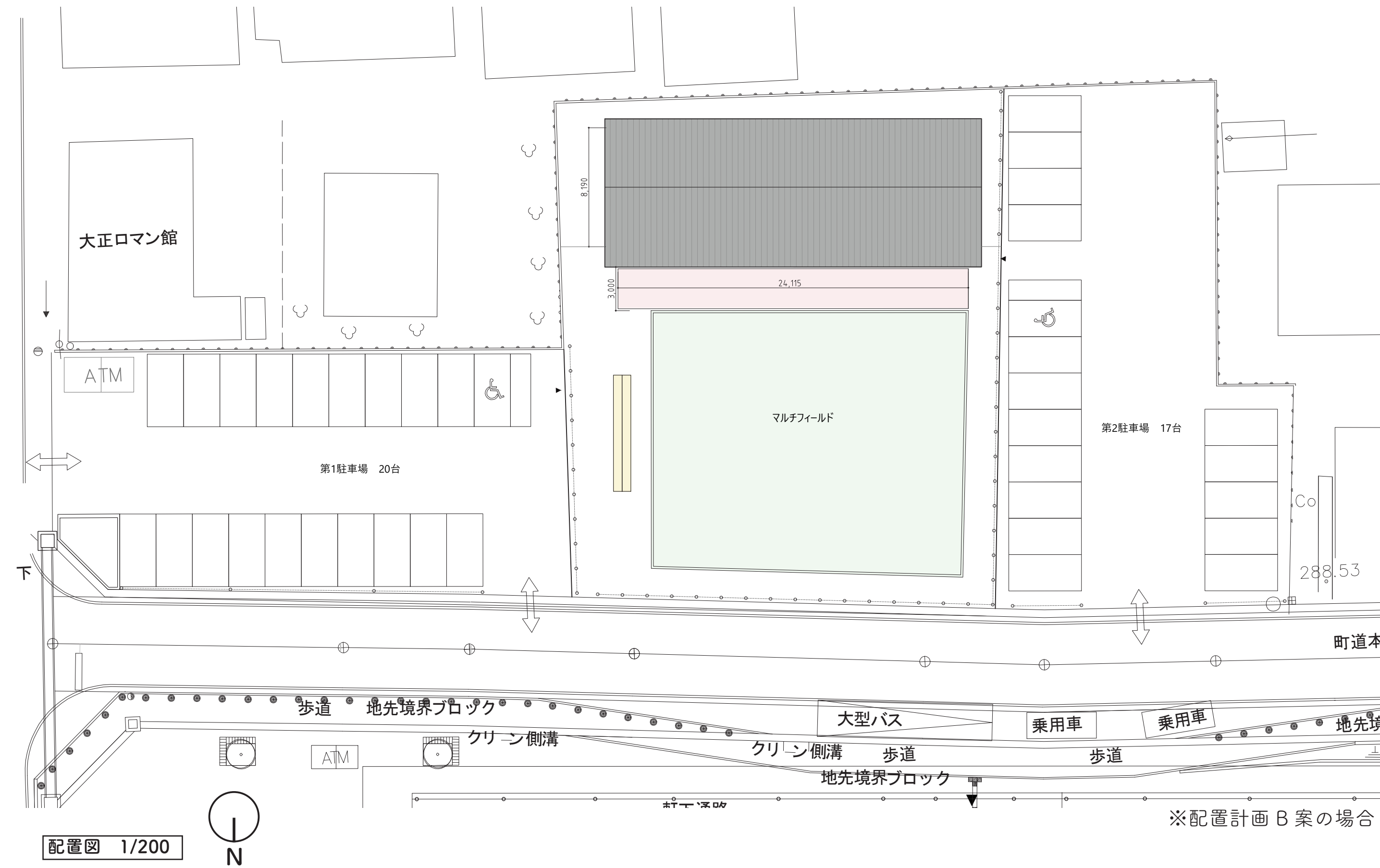
③人にやさしいまちづくり条例に基づく届出

本施設の建設は、福島県の「人にやさしいまちづくり条例」に基づき、必要な届出等を行ってまいります。

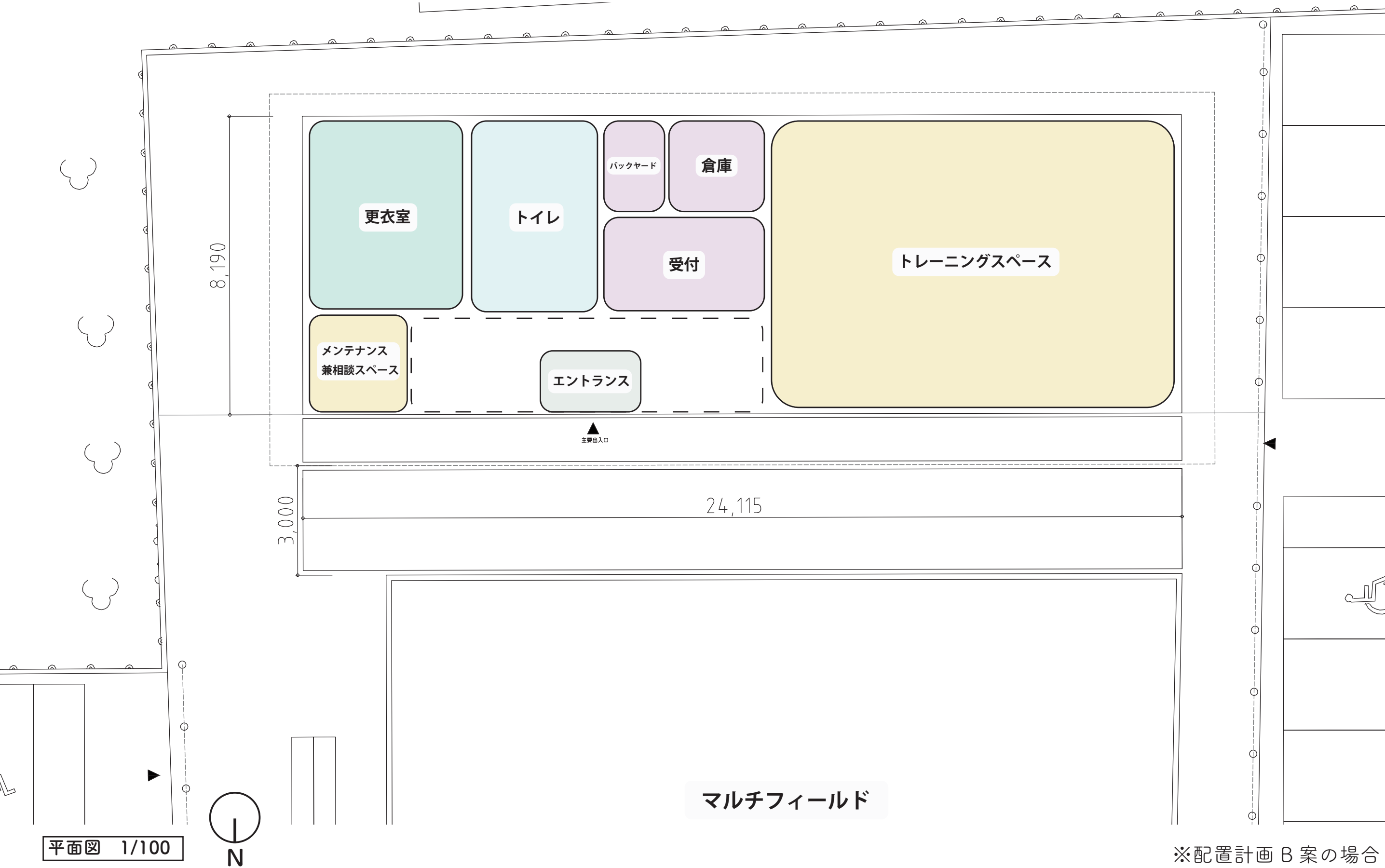
④その他の法令等

その他、施設の整備等を進める中で、必要に応じ、関連する法令・規制・条例に即した手続きを実施していきます。

4-1. 配置計画 ※基本計画時の配置を示す図であり、設計段階で変更等する場合があります。



4-2. 平面計画 ※基本計画時の平面計画を示す図であり、設計段階で変更等する場合があります。



5-1. イメージパース ※現時点での完成イメージです。完成後の施設とは異なります。



※配置計画 B 案の場合

【北西上空よりマルチフィールドおよび施設全体のイメージ】



※配置計画 B 案の場合

【旧奥州街道より KOKOTTO と施設の配置関係イメージ】



※配置計画 B 案の場合

【KOKOTTO よりマルチフィールドおよび施設正面イメージ】



※配置計画 B 案の場合

【マルチフィールドと施設正面イメージ】

5-1. イメージパース ※現時点での完成イメージですので、完成後の施設とは異なります。



※配置計画 B 案の場合

【建物側から底下の利用イメージ】



※配置計画 B 案の場合

【受付からロビー方面へのイメージ】



※配置計画 B 案の場合

【トレーニングスペースからエントランス方面へのイメージ】



※配置計画 B 案の場合

【受付からトレーニングスペース方面へのイメージ】

6-1. 管理計画概要

(1) 整備主体、運営方法について

本施設は公設民営を基本とし、具体的な運営方法として以下の2つの手法を検討します。

方式	概要
業務委託	町が施設を整備し、管理運営業務を業務ごとに民間主体に委託して管理運営を行う方式
指定管理者制度	町が施設を整備し、町が指定する指定管理者が管理運営業務を代行する方式

これらの方式は、公共サービスの質的向上と効率的な運営の両立を図る必要性から、民間の専門性やノウハウを活用することで、利用者ニーズに柔軟に対応しつつ、コスト管理の効率化を実現することを目指します。

(2) 管理運営体制

本施設は、町の健康づくり、スポーツ競技力向上のハブとして、効率的かつ利便性の高い施設運営を目指しています。そのため、基本計画に基づき公民連携を深め、すべての町民に親しまれる組織運営体制の整備に努めます。

具体的な運営母体としては、長年にわたり町のスポーツ振興に大きく貢献してきた実績があり、子どもから高齢者まで様々なプログラムを通じて心身の育成に関わり、コミュニティ形成にも寄与してきた地域のスポーツクラブを中心に検討を進めています。

将来的には、「スポーツによるまちづくり」の取組みを促進・支援するための組織である「スポーツコミッション」の設立を目指します。この組織は、スポーツと本町の地域資源をつなぎ、地方公共団体、スポーツ団体、民間企業、大学などと連携を図りながら、幅広く「スポーツによる地域振興」を進めていく役割を担います。

想定される組織体制としては、管理運営者や専門知識を有するトレーナー・スタッフを配置し、それぞれの専門性を生かした運営を行うことを検討しています。特に専門的知識を要するトレーナーや健康管理スタッフについては、資格保有者の配置や継続的な研修体制の構築も並行して進めていく予定です。

6-1. 管理計画概要



スポーツコミッションのイメージ

(3) 管理運営の基本方針

本施設は公共施設として位置づけられますが、質の高いサービスと高付加価値を提供するという方針のもと、提供するサービスに見合った適切な対価（利用料金）を基に持続可能な運営を目指しています。この考え方は、単に利用料金を徴収するということではなく、適切な対価を基に提供するサービスの質を高め、持続的な施設運営と適切な維持管理を実現するためのものです。

また、健康づくり、スポーツ競技力向上のハブとしてだけでなく、町の施設、複合施設 KOKOTTO、未来くるやぶき、ポケットパーク、矢吹球場、社会教育施設等との連携を図ることで、相互的にスポーツを通じた地域活性化を推進してまいります。これにより、単なるスポーツ施設ではなく、地域の健康・交流・人材育成の中核拠点として機能することを目指します。

6-1. 管理計画概要

(4) 維持管理について

本施設の維持管理においては、施設機能の維持向上と長寿命化を図ることを基本方針とし、予防保全の考え方に基づいた計画的な維持管理を実施することを検討しています。
具体的には、次の点に留意した維持管理体制の構築を目指します。

1. 点検・診断等

・施設の損傷や劣化の進行等は、構造や利用状況等によって施設ごとに異なることから、定期的な点検・診断を実施し、最新の施設状態や対応履歴等の情報把握と管理に努めます。

2. 維持管理・修繕・更新等

・多額の費用がかかる大規模な改修・更新をできるだけ回避するために、従来の事後的管理を改め、定期的な点検・診断の実施による損傷が軽微である早期段階に予防的な修繕を実施し、施設機能の保持・回復を図る予防保全型維持管理により、施設の維持管理・修繕・更新等のトータルコストの縮減や平準化に努めます。

3. 安全性の確保

・施設利用者等の町民ニーズを踏まえた上で、利用者の安全に直結する劣化や故障等は早急に対策を行い、安全確保とサービスの継続的提供を図ります。

4. 耐震化

・公共施設等の多くは、災害時には指定避難所・指定緊急避難場所として活用されています。このため、平常時の利用者の安全確保だけでなく、災害時の拠点施設としての機能確保を図るためにも、耐震対策の取組を推進していきます。

5. 長寿命化

・集中的な大規模改修や更新等は、大きな財政負担が発生し、今後の限りある財政状況下では非常に困難なこととなります。点検・診断等や予防保全型維持管理の確実な実施により、修繕等の大規模化や高コスト化を回避し、ライフサイクルコストの縮減を図ることで、財政負担の抑制と平準化に努めます。

6-1. 管理計画概要

6. 環境への配慮

・省エネルギー設備の適切な運用やごみの分別・リサイクルの徹底など、環境負荷の低減に配慮した維持管理を行います。

7. 周辺環境との調和

・施設の運営に伴う騒音や光害などが周辺地域に影響を与えないよう配慮し、地域との良好な関係構築に努めます。

8. デジタル技術の活用

・施設管理システムやIoT 技術を活用し、効率的な維持管理体制の構築を検討します。

(5) 利用時間

周辺施設の状況も踏まえ、以下の利用時間を検討中です。

曜日	月	火	水	木	金	土	日
時間	休館	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~18:00

平日は仕事や学校終了後も利用可能となるように夜間まで開館し、日曜日は短い開館時間とすることで、地域住民の生活リズムや利用ニーズだけではなく施設の維持管理や職員の労働環境にも配慮した利用時間の設定とします。また、休館日は、KOKOTTO 利用者を考慮した利用時間の設定とし、図書館や未来くるステーションの休館日に合わせ、毎週月曜日としています。

なお、今後の利用状況や地域のニーズに応じて、開館時間の見直しも柔軟に検討していく予定です。

7-1. 今後の検討事項

(1) (仮称)スマートパークの愛称

公募による決定や、ネーミングライツ（命名権）等により、町民が親しみやすい愛称を検討します。

(2) 景観への配慮

複合施設 KOKOTTO などの周辺施設を考慮した形態や意匠に配慮するとともに、魅力ある市街地景観の創出にも寄与できるように検討します。

(3) 周辺施設との連携

「複合施設 KOKOTTO」、「未来くるやぶき」、「中町ポケットパーク」、「大正ロマンの館」、「やぶき観光案内所」、「学校体育施設」、「社会体育施設」、「社会教育施設」、「大池公園」、「温水プール」、「あゆり温泉」、「福社会館」との連携のほか、民間医療施設など、周辺施設との連携強化によるさらなるまちづくり活性化について検討します。

(4) 効果的なイベントの開催

他のイベントと同時開催による相乗効果、周辺施設の有効活用、収益性の考慮、商工会などの関係団体との連携、地域で活動するプロスポーツチームとの連携、賑わいづくり、スポーツの機運醸成及び町内外の交流人口の増加などを考慮しながら、効果的なイベントの開催を検討します。

(5) スポーツツーリズムの推進やスポーツ合宿等の実施

これらの取組は、域外交流人口の拡大及び賑わい創出のための有効な手段であると考えます。大池公園などの地域資源や周辺施設を有効に活用し、スポーツ団体、商工団体及び企業などとの連携を図りながら、実施に向けて検討します。

(6) 学校及び企業へのソフト事業の導入

スポーツ×デジタル振興プロジェクトで行っているソフト事業を、町独自の教育施策として学校へどのように導入できるか検討します。また、働き世代*へ向けた運動のアプローチとして有効であると考えており、企業への導入を検討します。

* 働き世代：青年期（20歳代から30歳代）、壮年期（40歳代から64歳まで）の方

7-1. 今後の検討事項

(7) ガバメントクラウドファンディングの活用

マルチフィールドなどの外構部分については、ガバメントクラウドファンディングなどを活用し資金調達に努め、町の財源支出を抑制するよう努めます。

(8) 周辺類似施設との連携

(仮称) スマートパークのクラブハウスは、町のヘルスアップ教室などと連携した健康増進プログラムの実施、地域の教育機関（小中高校）や企業などへ出向いてのトレーニング指導などの「地域の健康ハブ」としての機能を持つ予定です。一方、ジム機能については、既存スポーツジムと機能や役割、ニーズなどの分担、住み分けを十分検討し、相乗効果が図られるよう連携を深めていきます。